

社会の潮流と 龍郷町の現状と課題

1 社会潮流

これからのまちづくりを考える上で、本町に影響を及ぼすと考えられる全国的な社会の潮流について整理しました。

●人口減少、少子高齢化の進行

- 日本の人口は令和35(2053)年に1億人を下回ると推計され、労働力人口や消費市場の縮小など、地域社会に深刻な影響を与えることが懸念されています。
- 各自治体で移住・定住促進や関係人口・交流人口増加に向けてまちの魅力を向上させ、発信する取組が進められています。



●安全・安心への意識の高まり

- 自然災害が激甚化・頻発化し、暮らしの安全確保が大切な要素となっています。
- 防災・減災には自助・共助・公助の取組とともに、デジタル化や地域防災力を高めるハード・ソフト一体の取組が必要とされています。
- 感染症対策や健康への意識が高まっており、感染リスクを抑えつつ生産性を向上する「新しい生活様式」が必要とされています。



●社会資本整備と老朽化対策

- 高度経済成長期に整備された多くの公共建築物や道路、橋梁、公園、下水道などの社会資本が一斉にその更新時期を迎えつつあります。
- 厳しい財政状況が続くなか多額の費用負担に対処するため、地方公共団体には長期的な視点で計画的な維持管理を行うことが必要とされています。



●持続可能な地域づくりの推進

- 持続可能な開発目標—SDGsは「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現を目指しています。
- SDGsは、経済、社会、環境を巡る幅広い課題への国際社会の目標としてあらゆる主体の取組が求められています。



●技術革新による時代の変化

- ロボットや自動運転等の技術革新の進展により産業構造が転換し、労働力不足を補う可能性があります。
- デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進により、さらに便利で安全・安心なまちづくりが期待されています。



●脱炭素社会に向けた取組の推進

- 国では温暖化への対応を成長機会と捉え、脱炭素化による「経済と環境の好循環」の創出を目指しています。
- 行政活動はもちろん、民間の事業活動や日常生活でも脱炭素社会に向けた取組の推進が求められています。



●国際化(グローバル化)の進展と多文化共生社会

- 新型コロナウイルス感染症の出国制限により外国人の訪日は大幅に減少していましたが、留学や技能実習等の資格で在留する外国人や一時的に滞在する訪日観光客はいずれも戻りつつあります。
- 外国人が地域社会において支障なく生活していける多文化共生のまちづくりが求められています。



●協働のまちづくりの必要性の高まり

- 人口減少や人口構造の変化、自治会加入率の低下等により地域コミュニティの活力が低下しています。
- 多様な価値観を認め合い、一人ひとりがワーク・ライフ・バランスを図りながら生涯にわたり、個性と能力を発揮しながら、さまざまな場面で活躍できる社会の実現が求められています。
- 見守りや近隣の助け合い等、地域のつながりの大切さが再認識され、町民参画・協働のまちづくりが求められています。



2 龍郷町の現状と課題

(1) 地勢と特徴

本町は、素晴らしい自然景観と奄美固有の動植物に恵まれ、歴史・文化としては、西郷隆盛の流謫地や秋名アラセツ行事、長い伝統を誇る大島紬など、素晴らしい自然環境・地域文化を有しています。これらの保全または有効利用を行い、町の活性化につなげるとともに、次世代に引き継いでいく必要があります。

また、空港と名瀬の市街地へのアクセスの良さから、他市町村からの転居者が多く、近隣市町村の人口減少が著しいなか、本町の人口はほぼ横ばいで推移しています。

まちの歩みとしては、67年間続いた龍郷村から、昭和50年2月10日に龍郷町制を施行し、令和6年度には町制施行50周年を迎えます。

① 自然豊かなまち

龍郷町は、鹿児島市から南西へ約380kmの奄美大島の北部に位置します。気候は、海洋亜熱帯性気候で、年間平均気温は約21度、降水量は年間3,000ミリに近く、湿度が年平均75パーセントと高いのが特徴です。この特異な気候により、奄美特有の動植物が育まれています。

また、穏やかで豊かな自然、美しい海浜や景観、奄美固有の貴重な動植物の宝庫でもあり、豊富で恵まれた大自然を有しています。

② 独自の文化と歴史が息づくまち

戦前は琉球や薩摩藩の支配下、戦後8年間、米軍下に置かれ、昭和28年に日本復帰を果たすという歴史的背景があります。

また、壇ノ浦の戦いに敗れた平家一族が落ち延び、奄美を平定したといわれる平家落ち武者伝説や明治の偉人西郷隆盛が奄美に流謫された地としても有名です。

文化としては、秋名アラセツ行事の中で行うショチョガマ・平瀬マンカイ(国の重要無形民俗文化財)や長い伝統を誇る大島紬の紬柄である龍郷柄・秋名バラは有名です。



【ショチョガマ】



【平瀬マンカイ】



【本場奄美大島紬】

③ 住みよいまち

本茶トンネル・和光トンネル開通等による生活圏の拡大、ライフスタイルの多様化・個性化からのIターン・Uターン等による人口流入、県営・町営住宅等の住環境整備により、奄美大島全体の人口が減少傾向であるのに対し本町の人口はほぼ横ばいで推移しています。住みよいまち・くらしやすいまちとして、今後もこの状況は続くものと予測されます。

(2) 歴史的あゆみ

① 琉球服属時代〔那覇世(ナハンユ)〕

奄美大島本島は1440年前後(応永7年前後)、琉球王朝の支配下になりました。行政区画としては、大島7間切というような分けられかたがなされていました。

② 薩摩藩支配下時代〔大和世(ヤマトユ)〕

その後、1609年(慶長14年)から約260年もの間、薩摩藩の支配下におかれました。

③ 龍郷村政時代

1871年(明治4年)の廃藩置県では、奄美群島は藩政据え置きのまま、1873年(明治6年)戸長制度に変わり、1908年(明治41年)の島嶼町村制施行により、龍郷村となりました。なお、1946年(昭和21年)連合軍最高司令部の覚書によって、日本から行政分離がなされ、以後米軍政下におかれましたが、熱烈な復帰運動の展開により、1953年(昭和28年)には祖国日本復帰を果たしました。

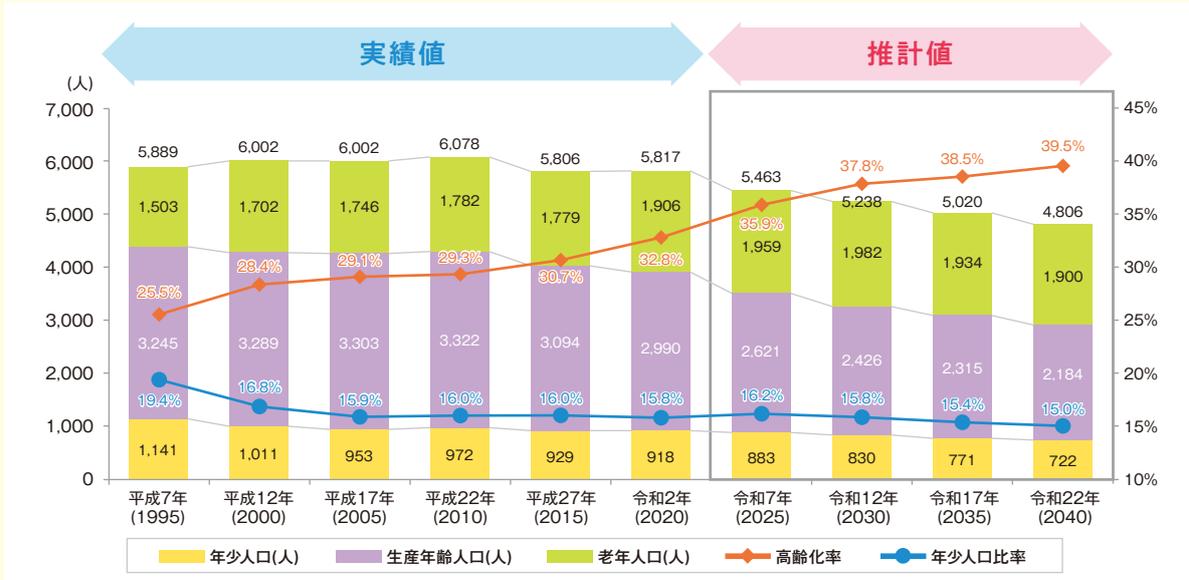


(3) 統計データからみる現状

①人口の状況

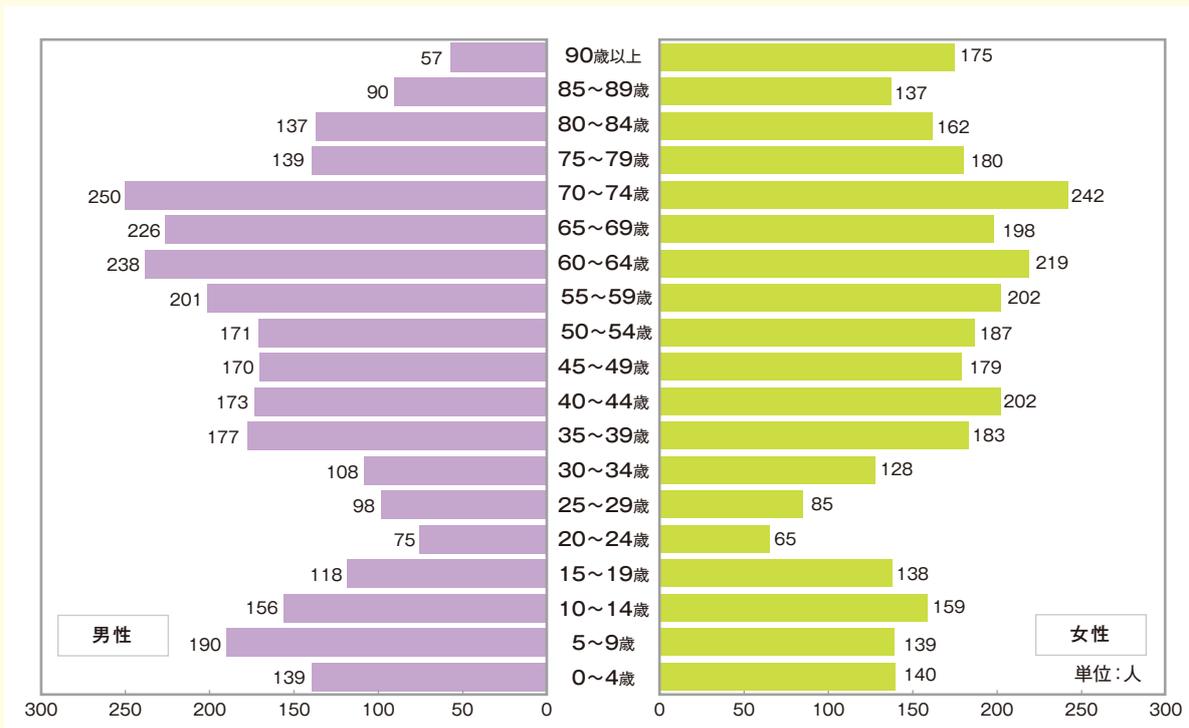
令和2年の国勢調査によると、総人口は5,817人となり前回調査時より11人増加しています。これを年齢3区分別にみると年少人口及び生産年齢人口は減少し、老年人口は増加しています。今後もこの傾向が続き人口の減少が見込まれ、老年人口も2030年をピークに減少に転じ人口減少が加速化することが予測されています。

■年齢3区分別人口の推移と将来推計



資料：平成7年～令和2年は「国勢調査」総務省、令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より

■人口ピラミッド 令和4年1月1日 現在

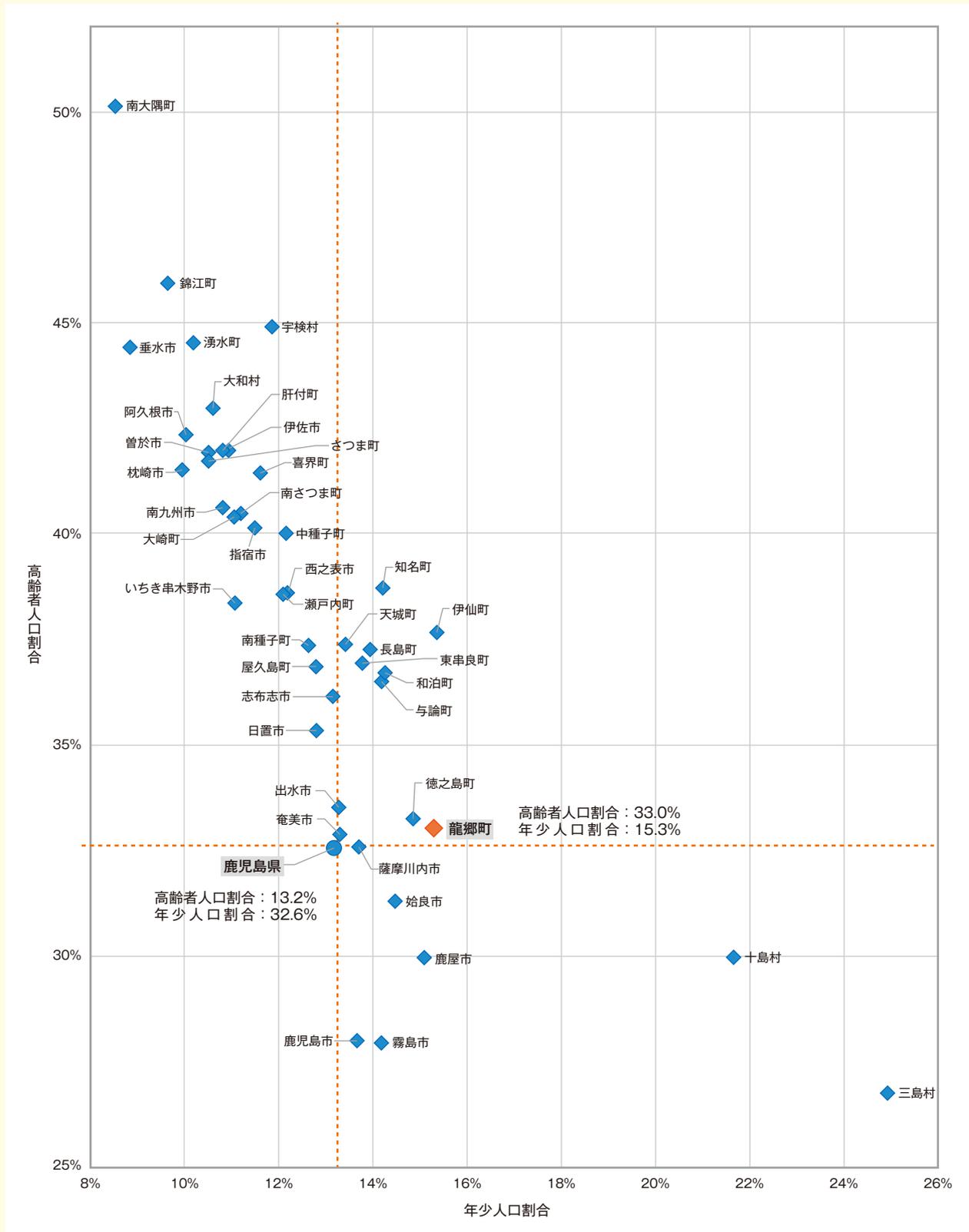


資料：総務省 住民基本台帳年齢階級別人口

少子高齢化の状況を見ると、年少人口割合は15.3%となり、県平均より高く、県内でも上位に位置しています。

一方、高齢者人口割合は33.0%となり、県平均より若干高くなっています。

■県内市町村別高齢者人口割合と年少人口割合



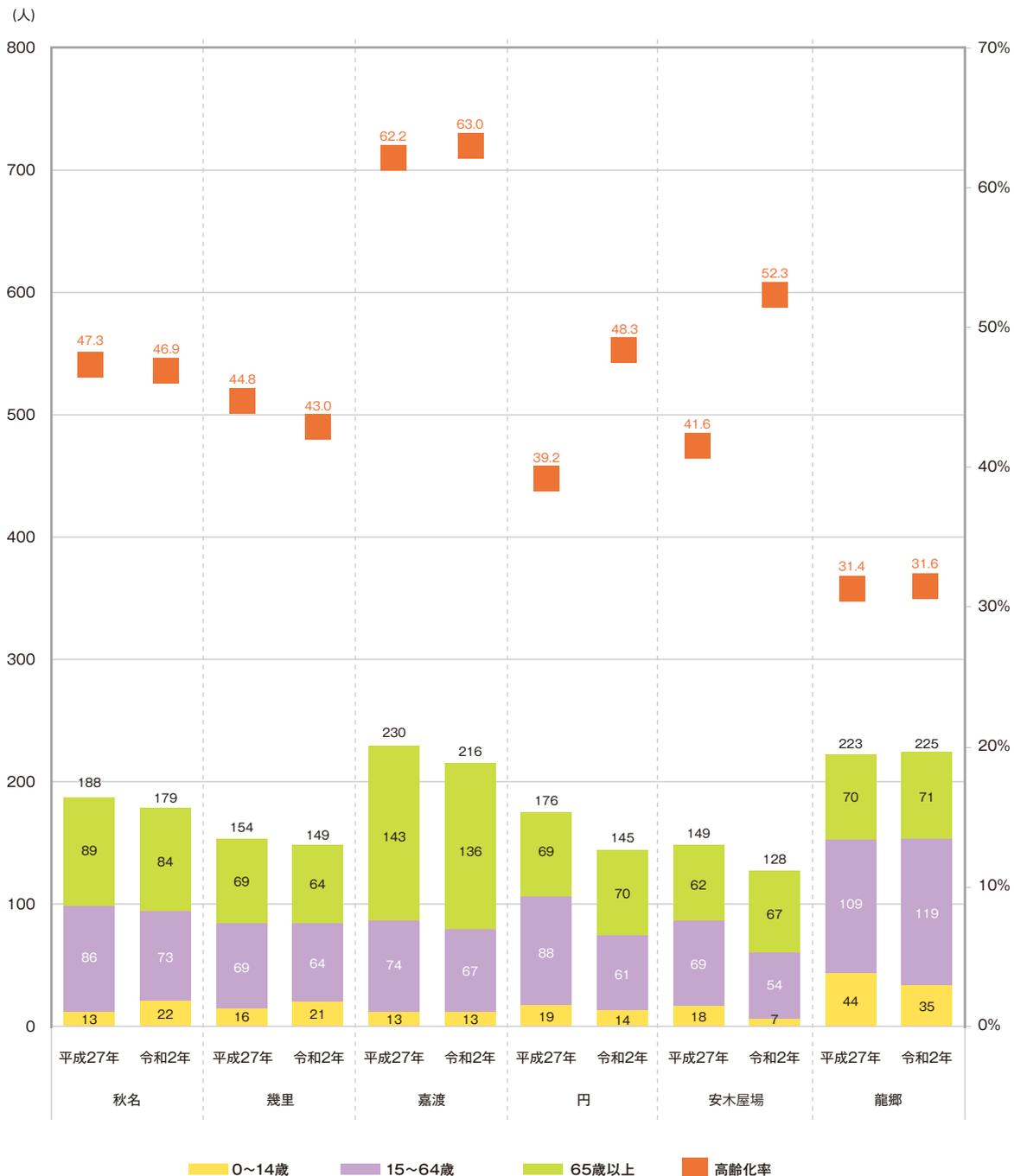
資料:総務省 住民基本台帳年齢階級別人口 令和4年1月1日 現在

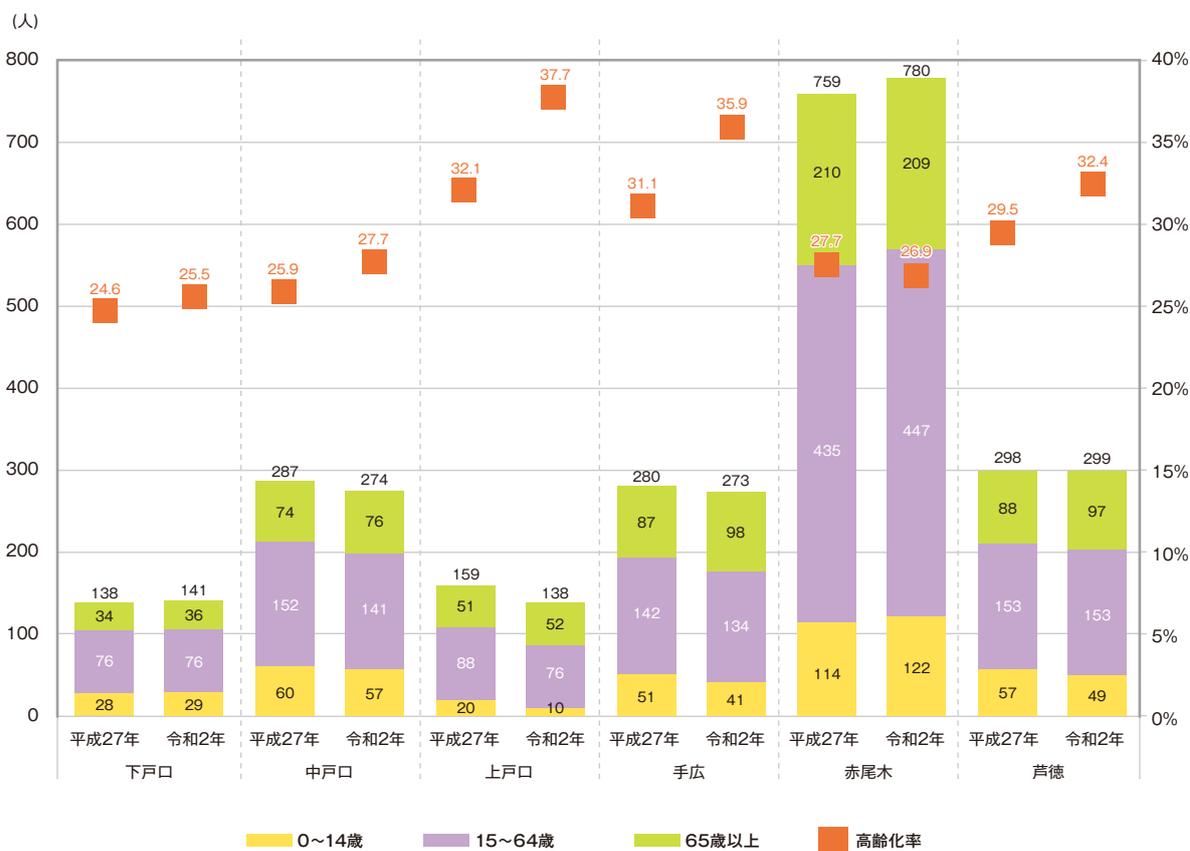
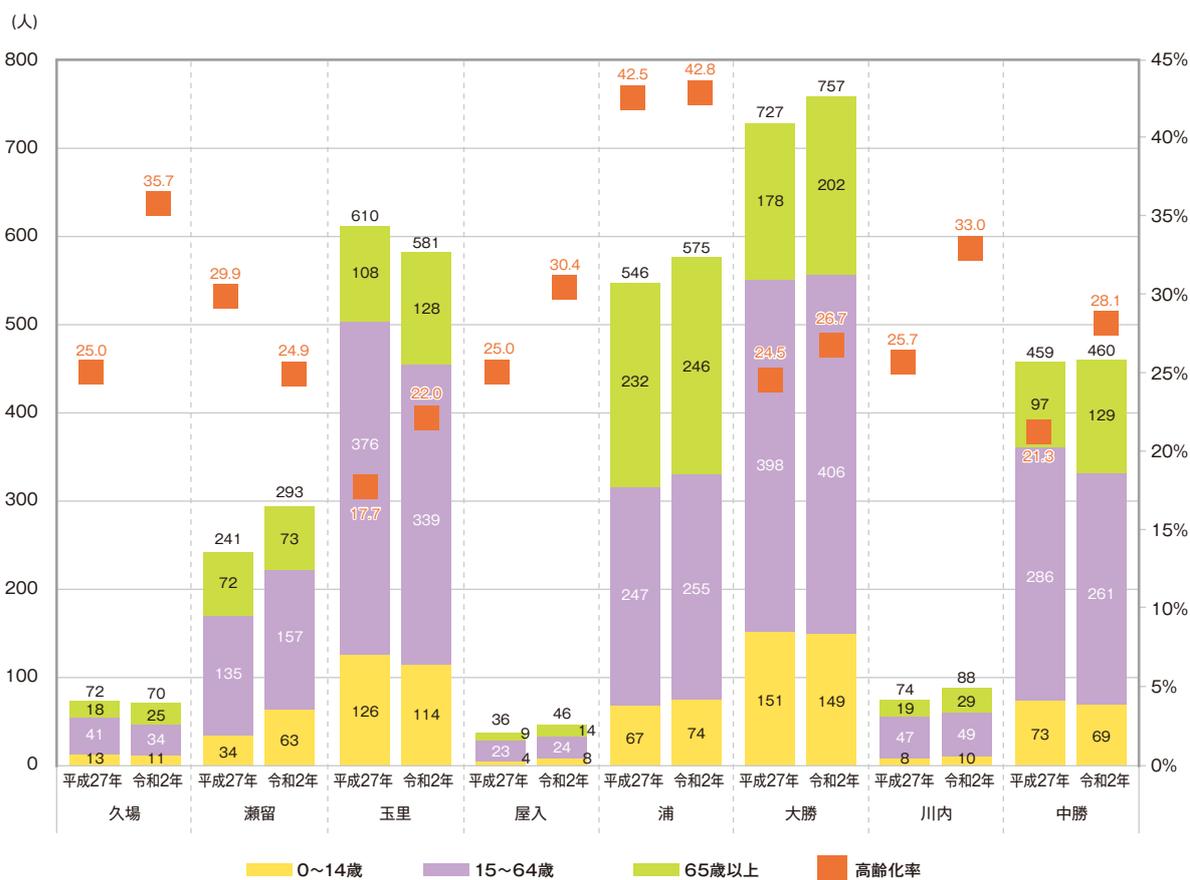
平成27年と令和2年の20集落別人口の状況を見ると、「龍郷」、「瀬留」、「屋入」、「浦」、「大勝」、「川内」、「中勝」、「下戸口」、「赤尾木」、「芦徳」の10集落において総人口は増加しています。

また、高齢化の状況を見ると、「秋名」、「幾里」、「嘉渡」、「円」、「安木屋場」、「浦」においては高齢化率が4割を超えており高齢化の進行が見られ、特に、「嘉渡」では高齢化率が6割を超えています。

一方、「瀬留」、「玉里」、「大勝」、「中勝」、「下戸口」、「中戸口」、「赤尾木」では、20%台と低くなっています。

■地区別人口と高齢化率



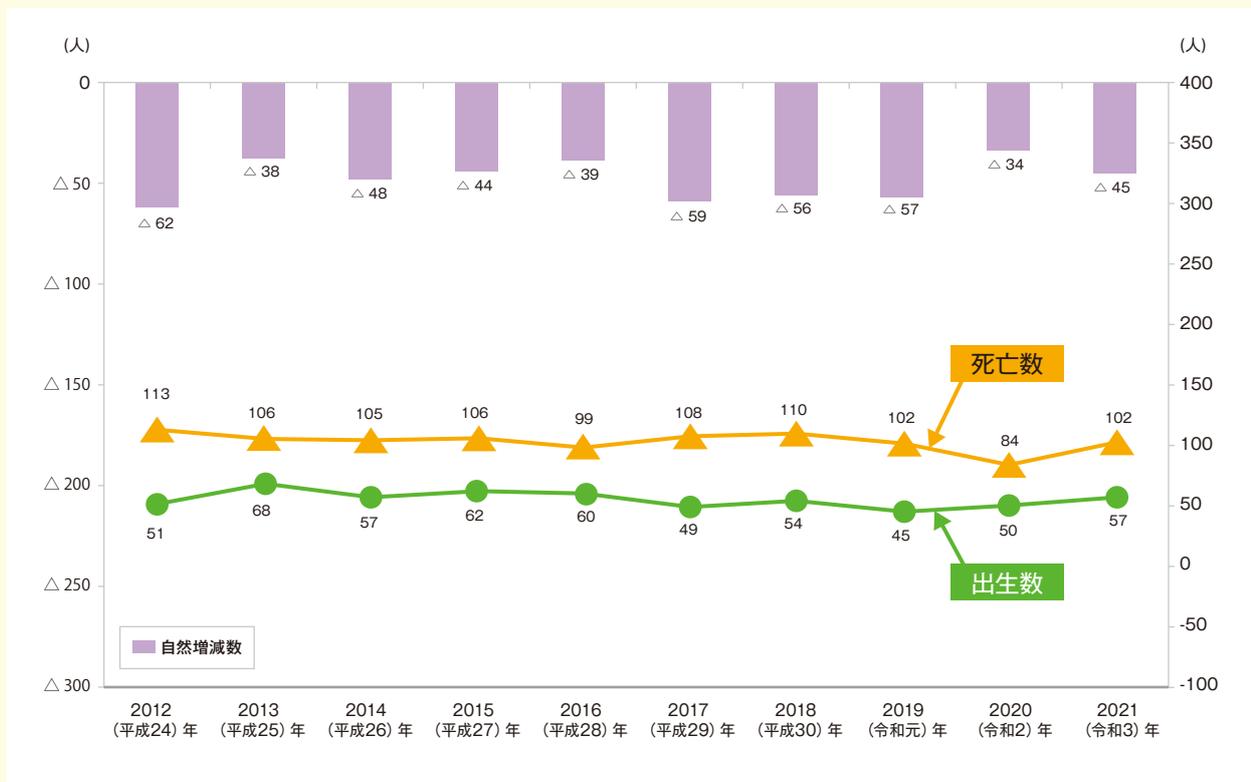


資料:住民基本台帳(令和4年1月1日 現在)

②人口動態の状況

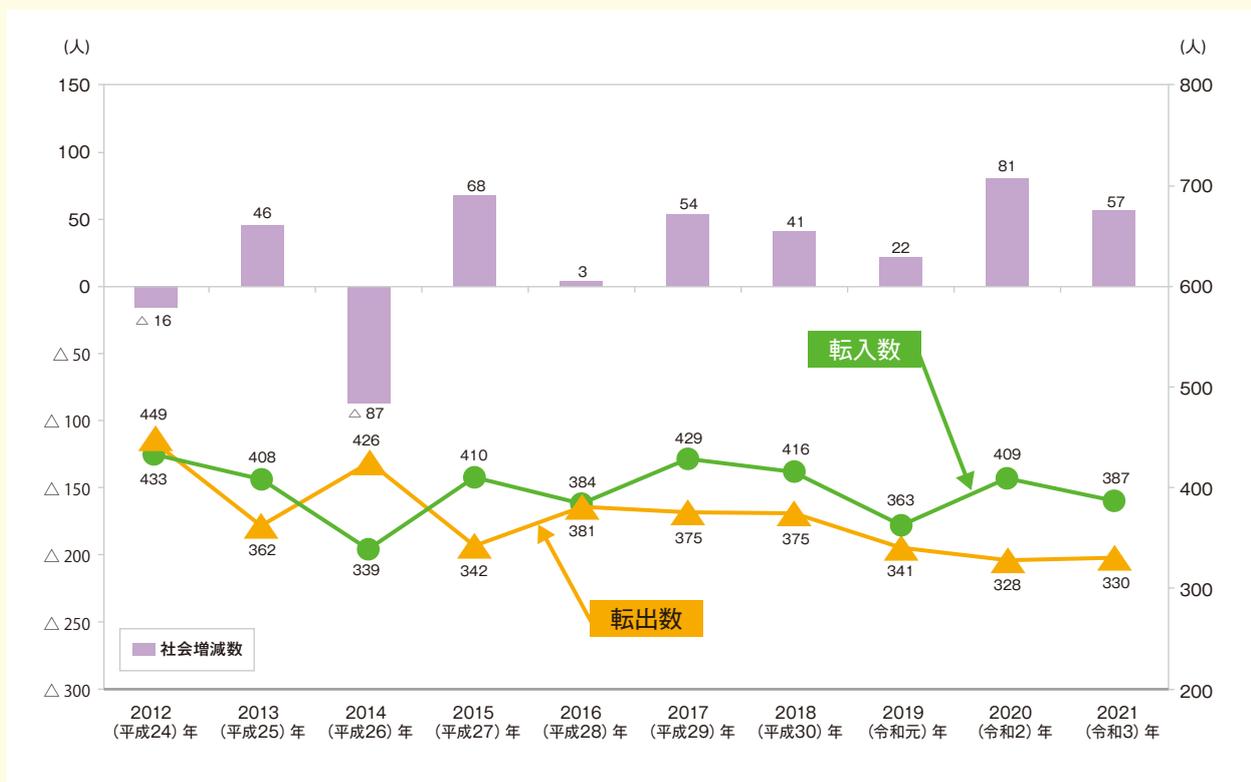
近年の人口動態の推移をみると、自然増減は各年50人前後の減少となっています。一方、社会増減は平成27年以降転入超過が続いています。

■自然増減



資料：鹿児島県人口移動調査年報

■社会増減



資料：鹿児島県人口移動調査年報

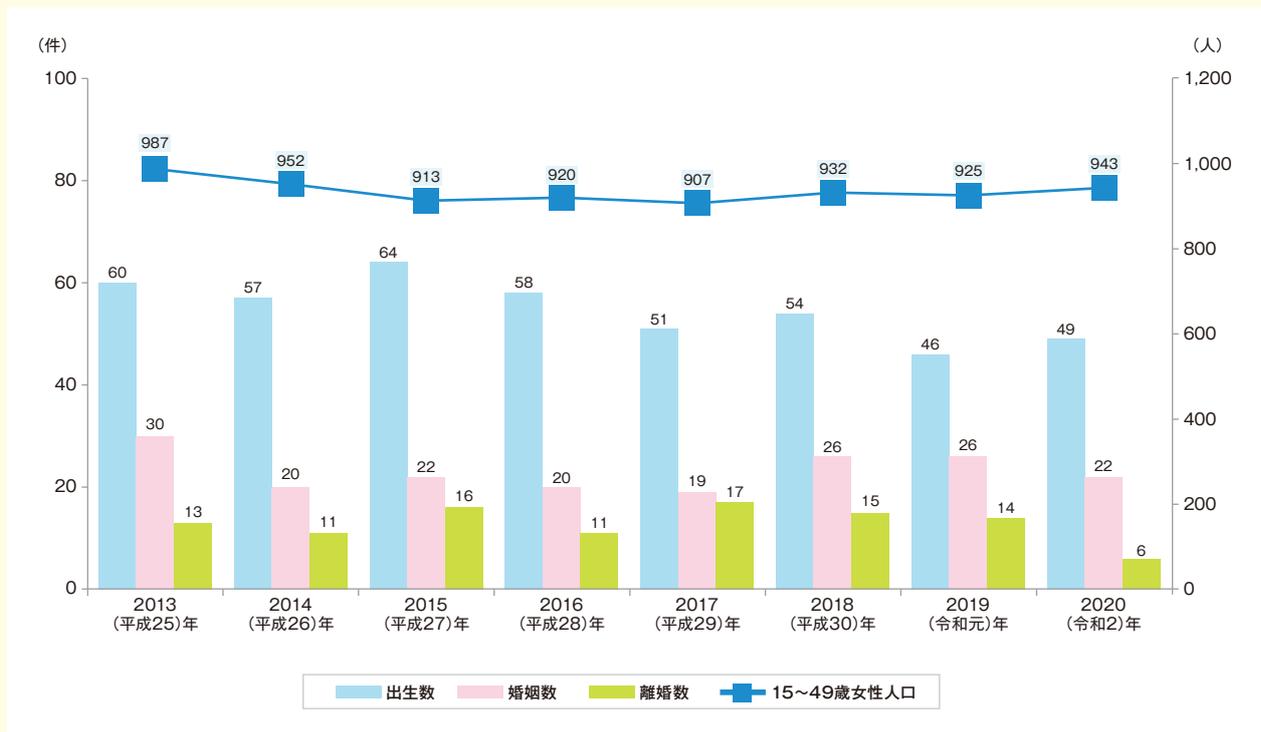
本町の合計特殊出生率をみると、現在の人口を維持できるとされる合計特殊出生率の目安(人口置換水準)2.07をいずれの期間において上回っていますが、減少傾向にあり平成29年～令和3年では2.08となっています。

また、出生数は、減少傾向にあり、令和2年では49人となっています。

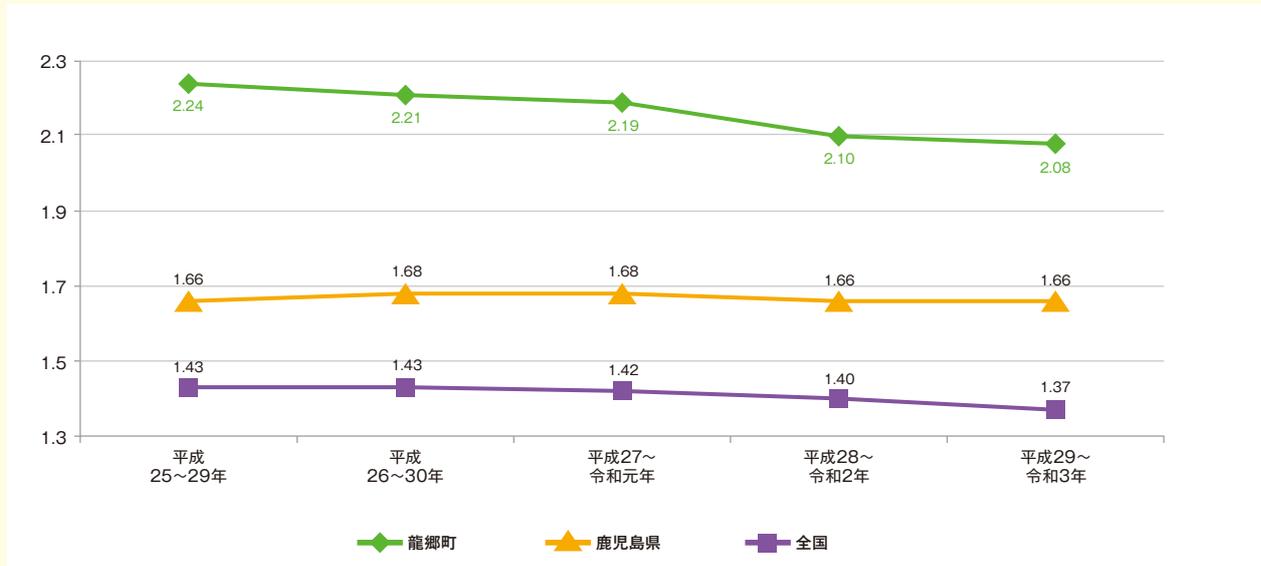
関連して、15～49歳の女性人口の推移をみると2018年以降は増加傾向にあり、令和2年では943人となっています。

合計特殊出生率は、全国と比較した場合高い水準で推移していますが、母数となる「15～49歳女性人口」が減少していることもあり、出生数自体は減少しています。

■出生数・婚姻数・女性人口の推移



■合計特殊出生率の推移



資料：出生数、婚姻数、離婚数、合計特殊出生率は総務省人口動態統計調査(各年1月1日から12月31日)。女性人口(15～49歳)は鹿児島県推計人口、ただし平成27年と令和2年は国勢調査(各年10月1日現在)。

③世帯の状況

令和2年の世帯数は2,554世帯と前回調査より増加しています。一方、平成12年以降の1世帯当たりの人員数をみると一貫して減少しています。

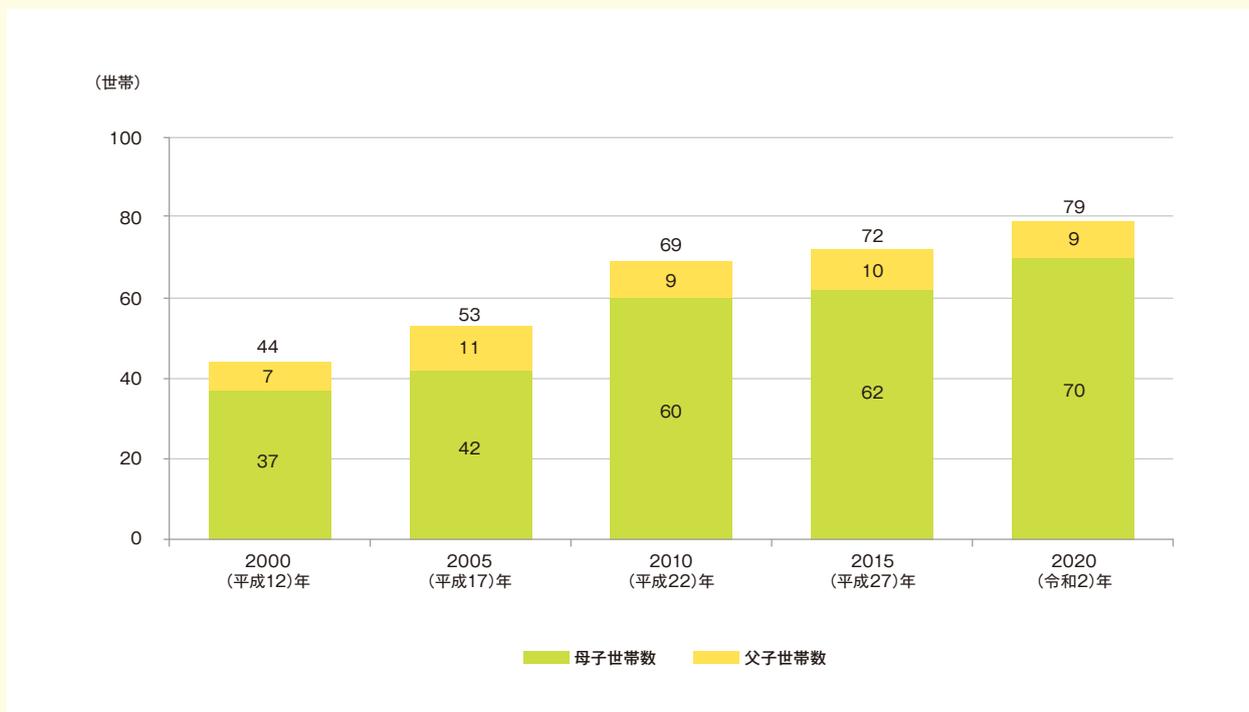
ひとり親世帯数の推移をみると、増加傾向にあり、令和2年では79世帯となっています。

■一般世帯数と一般世帯の1世帯当たり人員の推移



資料:国勢調査

■ひとり親世帯数の推移

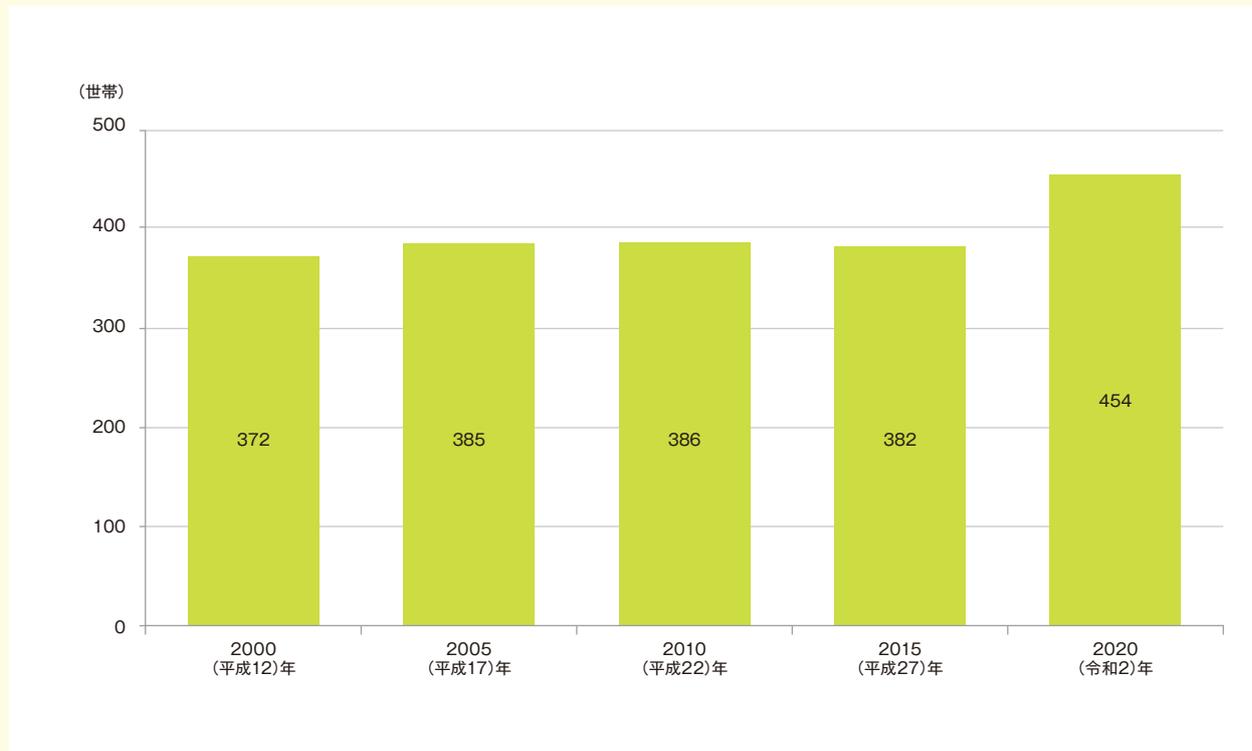


資料:国勢調査

高齢単身者世帯数の推移をみると、平成27年までは380世帯前後で推移していたものの、令和2年では454世帯と大幅に増加しています。

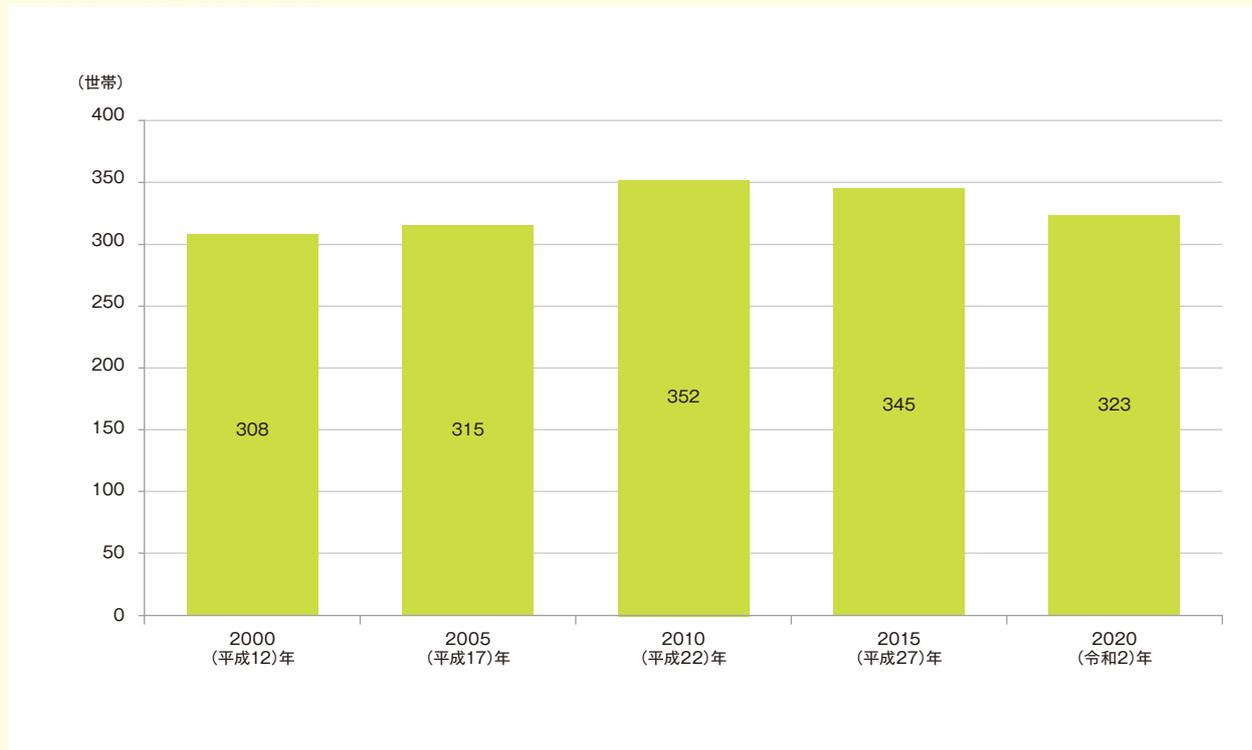
また、高齢夫婦世帯数の推移をみると、令和2年は前回調査より22世帯減少していることから、高齢者世帯の構成の変化が伺えます。

■高齢単身者世帯数の推移



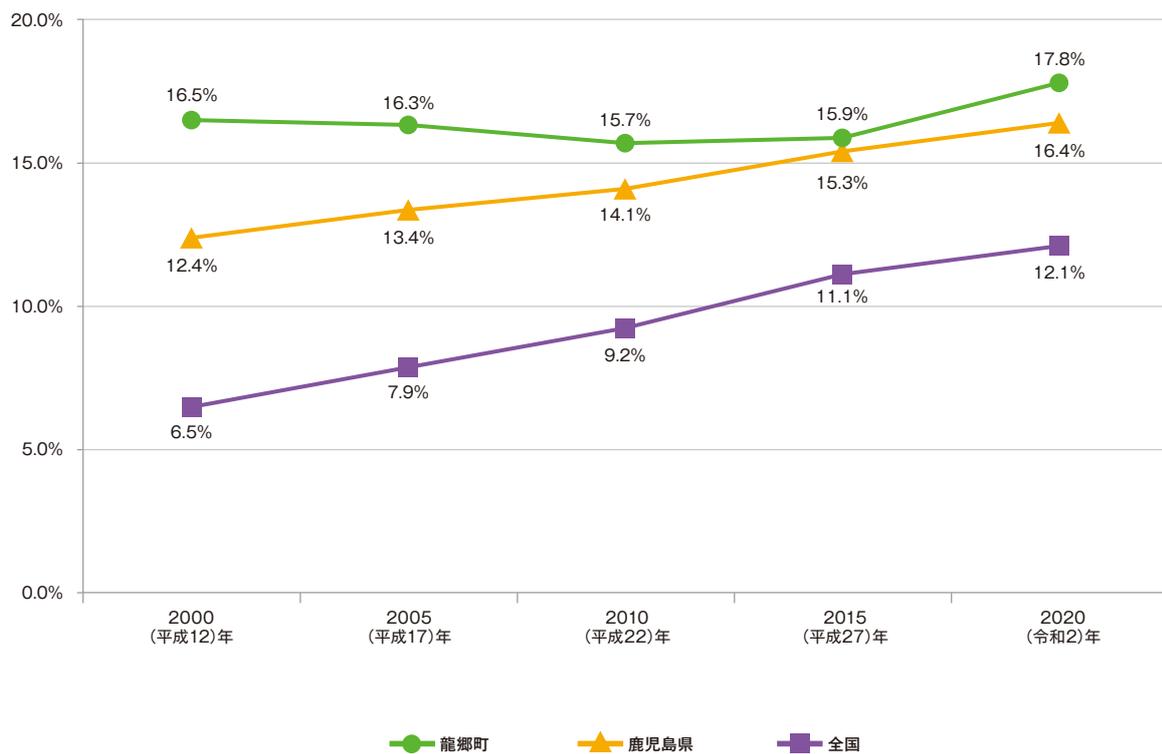
資料：国勢調査

■高齢夫婦世帯数の推移



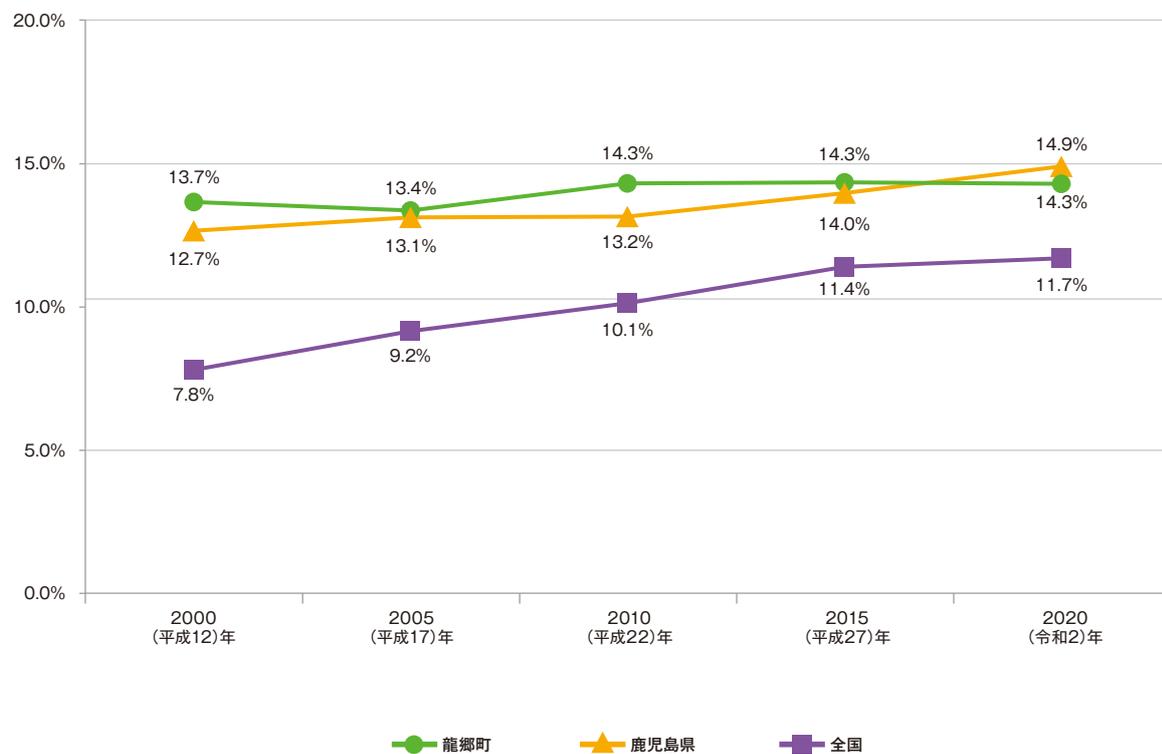
資料：国勢調査

■高齢単身者世帯割合



資料:国勢調査

■高齢夫婦世帯割合



資料:国勢調査

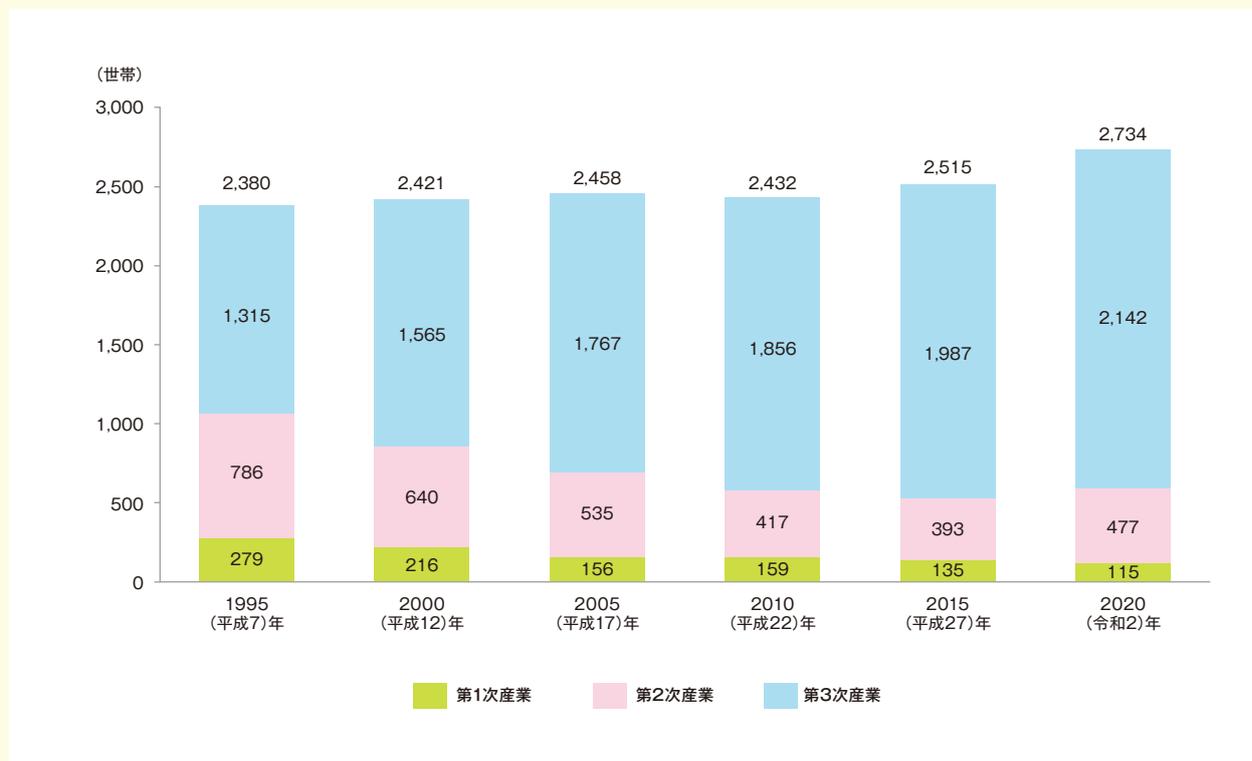
④産業の状況

就業者人口は増加傾向で推移しており、令和2年度では2,734人となっています。

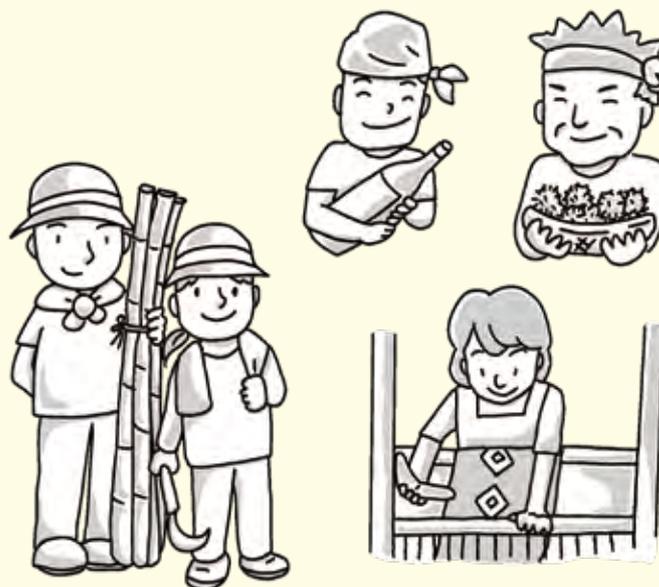
第1次産業は年々減少しており、特に農業においては60歳以上の就業者の割合が令和2年度では65.4%となり高齢化が進んでいます。

また、年々、第3次産業の割合が高くなっています。

■産業別就業人口の推移

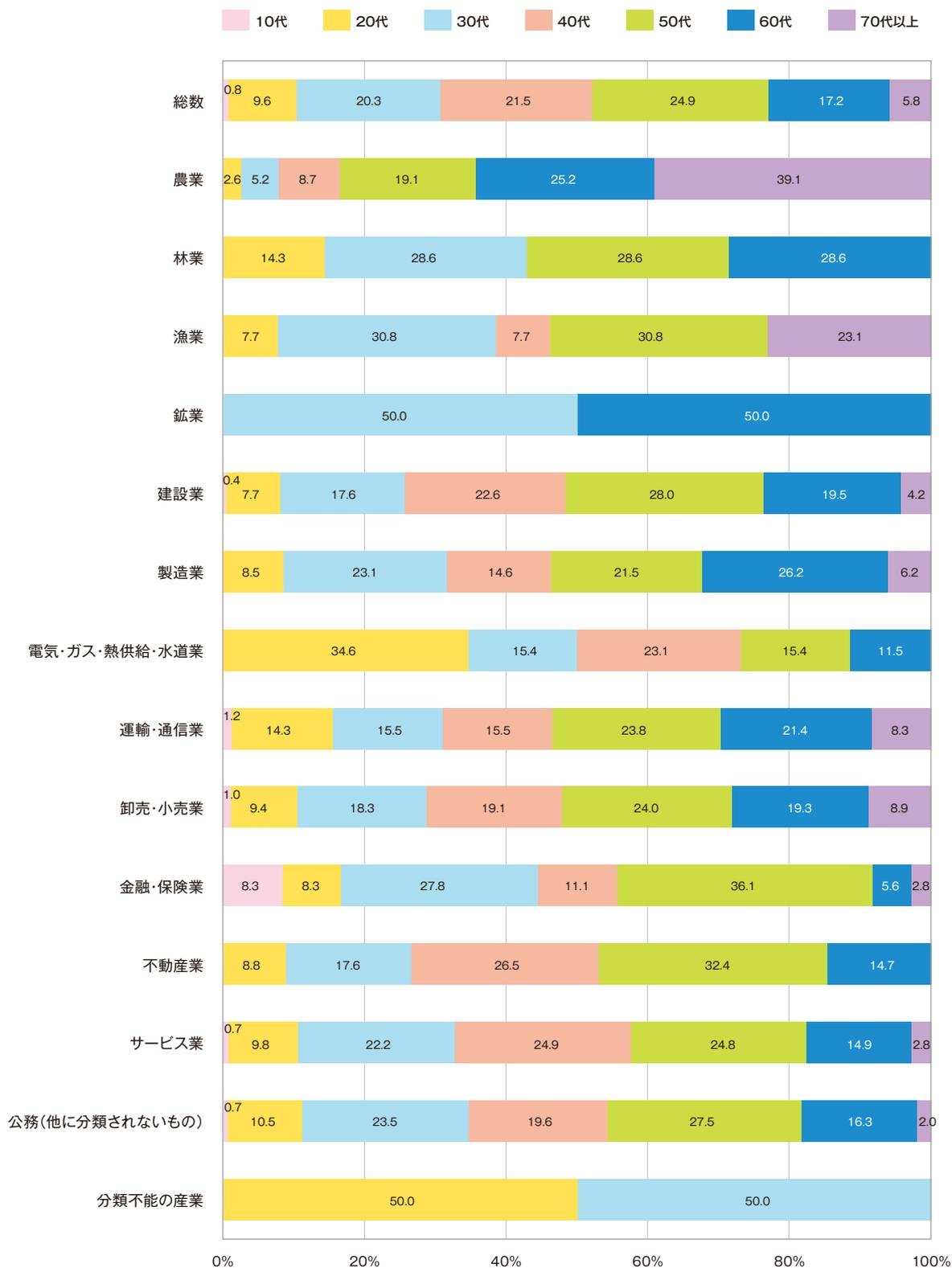


資料：国勢調査

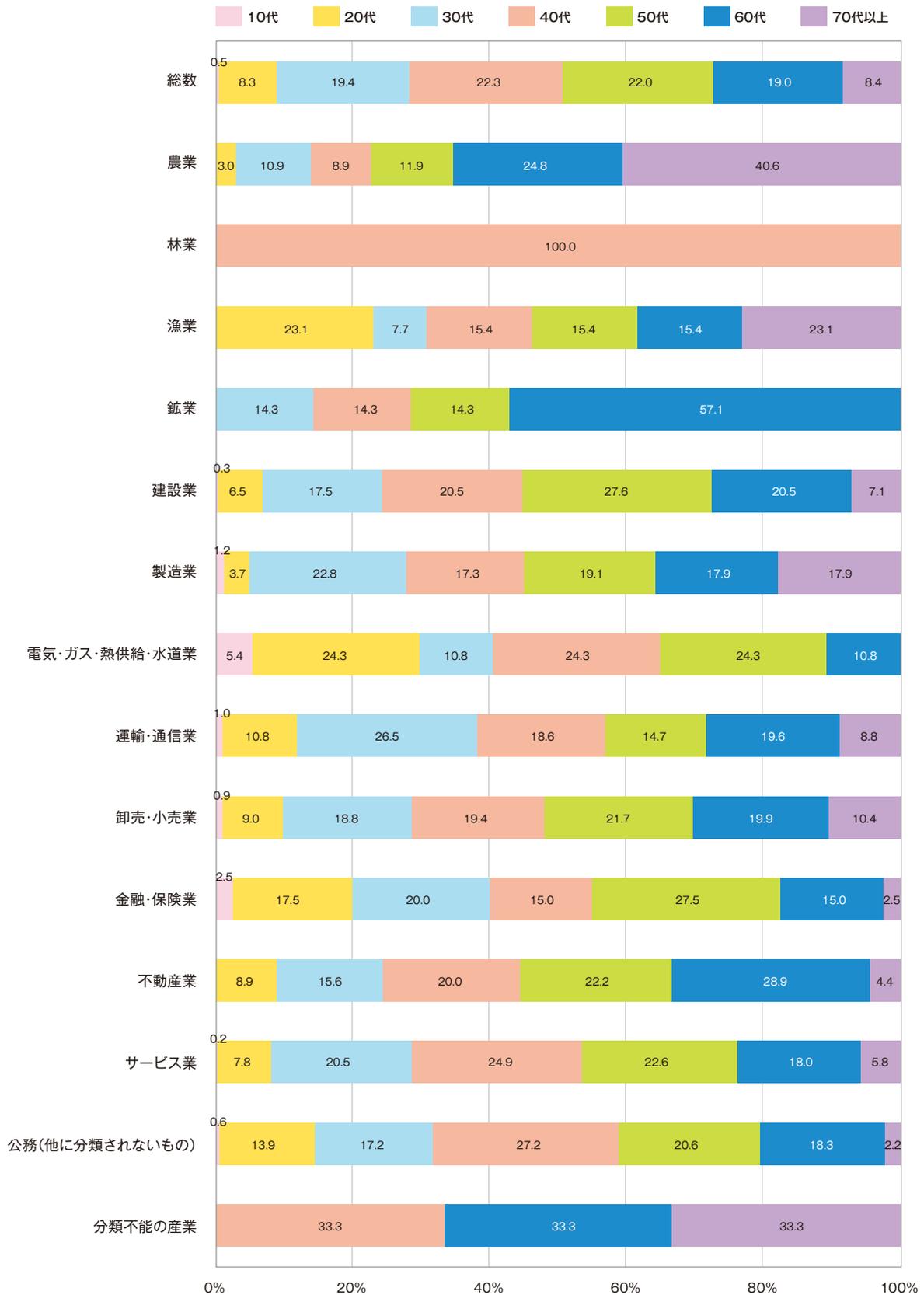


■年齢階級別産業人口の比較(H27:R2)

年齢階級・産業別人口(H27)



年齢階級・産業別人口(R2)

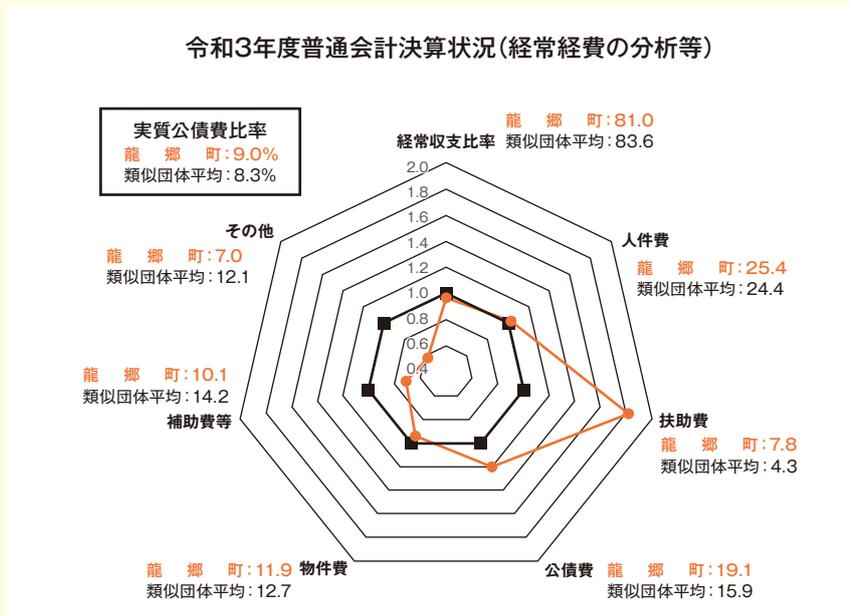


資料: 国勢調査

⑤町の財政状況

本町の実質公債費比率は低下傾向にあるものの類似団体平均より高くなっており、有利な起債の選択や繰上償還の活用等により指標の抑制に努める必要があります。また、令和3年度の経常収支比率は上昇しており、公債費や物件費等の経常経費削減に努めるとともに、歳入の確保を図る必要があります。

◆類似団体平均(黒線)を1とした場合の、龍郷町(赤線)との比較



出典：令和3年度 鹿児島県 財政状況資料集

◆財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
財政力指数	0.17	0.17	0.18	0.17	0.17	0.16
経常収支比率(%)	88.7	89.1	88.3	85.2	81.0	87.1
実質公債費比率(%)	10.1	10.2	9.8	9.3	9.0	8.9

出典：地方財政状況調査

財政力指数：地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

経常収支比率：地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、補助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補てん債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合。この指標は経常的経費に経常一般財源収入がどの程度充当されているかを見るものであり、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。

実質公債費比率：当該地方公共団体の一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額(*)に対する比率。借入金(地方債)の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標ともいえる。地方公共団体財政健全化法の実質公債費比率は、起債に協議を要する団体と許可を要する団体の判定に用いられる地方財政法の実質公債費比率と同じ。(※標準財政規模から元利償還金等に係る基準財政需要額算入額を控除した額。)

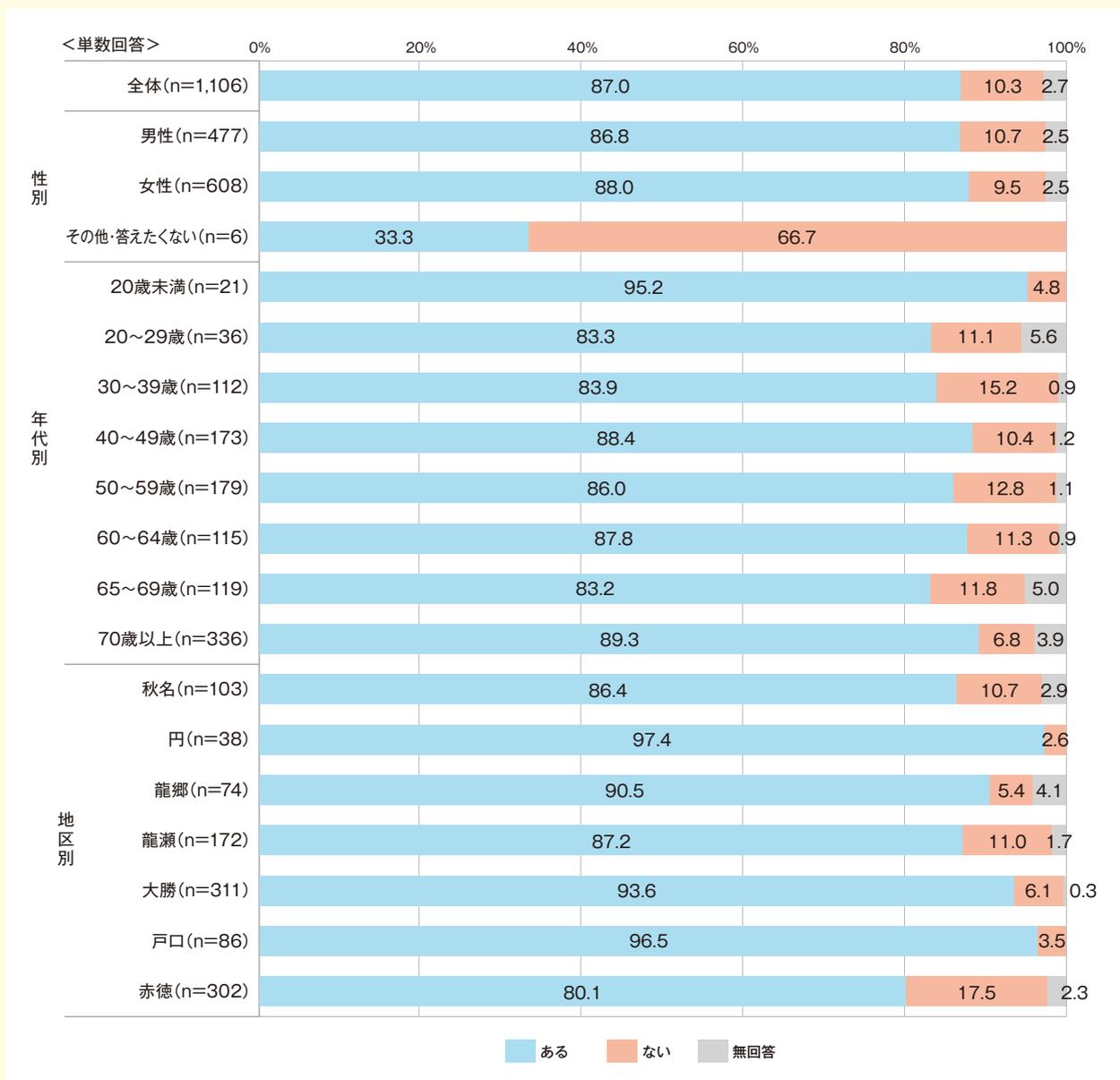
(4) 住民アンケート調査からみる現状

① 龍郷町での暮らしについて

(ア) 町への愛着

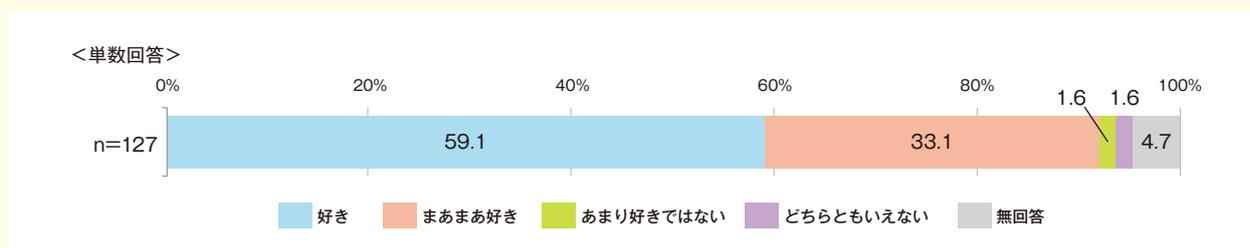
■ 龍郷町に対して愛着があるか(町民)

◇「ある」が87.0%、「ない」が10.3%となっています。



■ 龍郷町への想い(中学生)

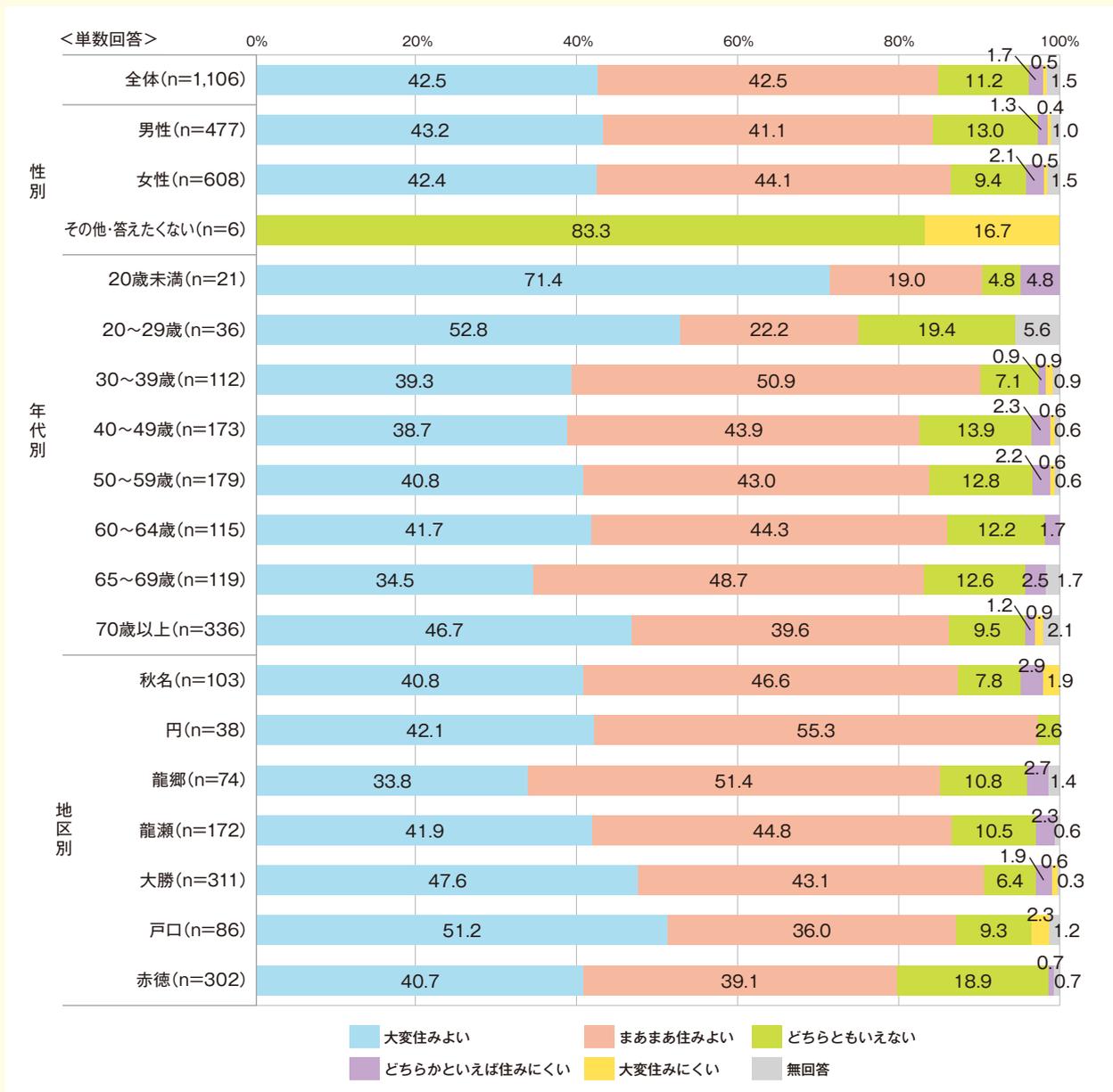
◇「好き」が59.1%と最も高く、次いで「まあまあ好き」が33.1%、「どちらともいえない」が4.7%となっています。



(イ) 龍郷町は、住みやすいところか

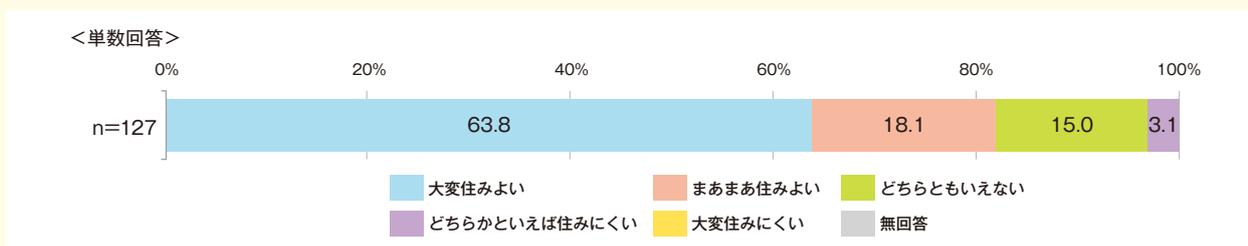
■ 龍郷町は住みやすいか(町民)

◇「大変住みよい」、「まあまあ住みよい」がともに42.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の11.2%となっています。



■ 龍郷町は住みやすいか(中学生)

◇「住みやすい」が63.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みやすい」が18.1%、「ふつう」が15.0%となっています。

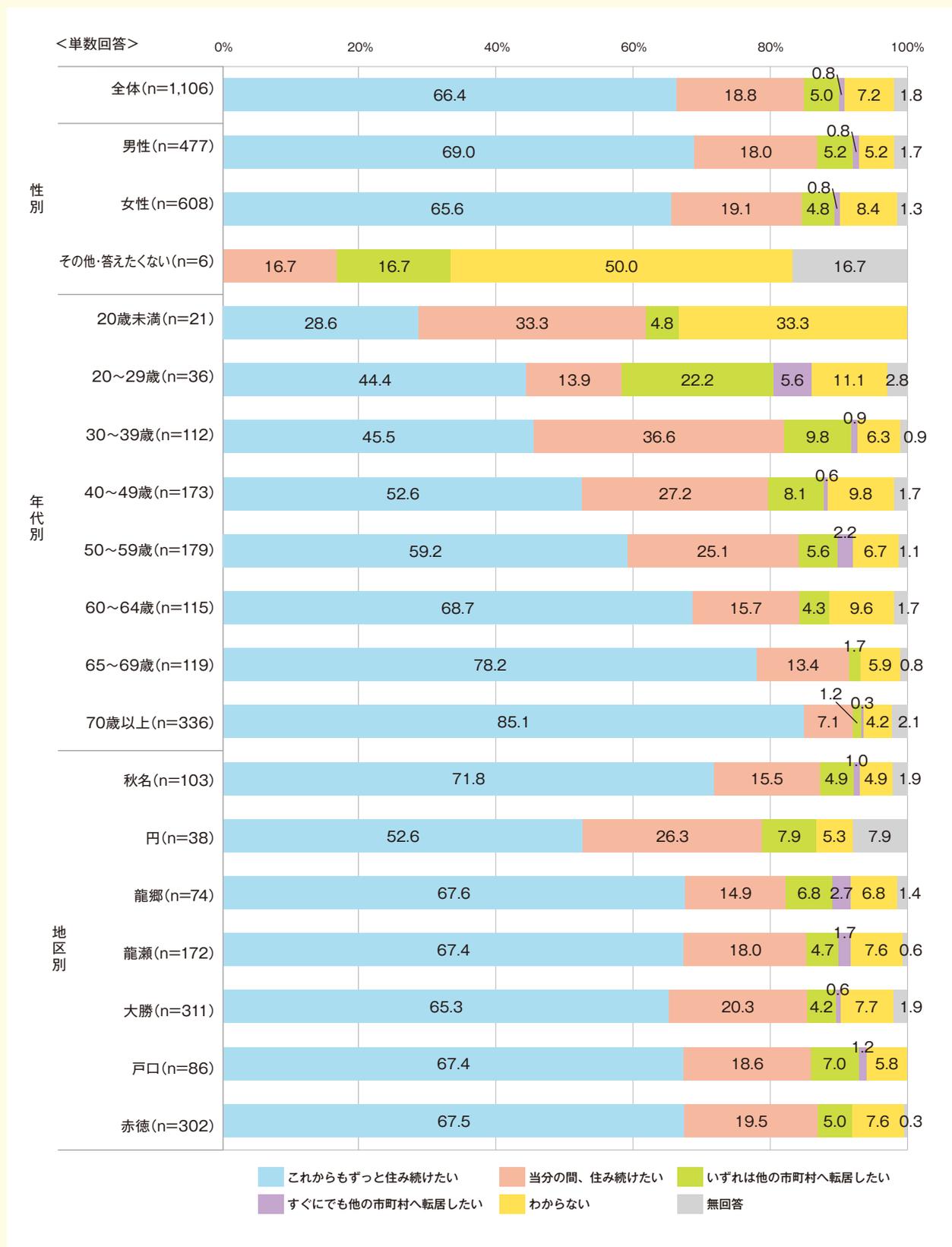


(ウ) 今後の定住意向

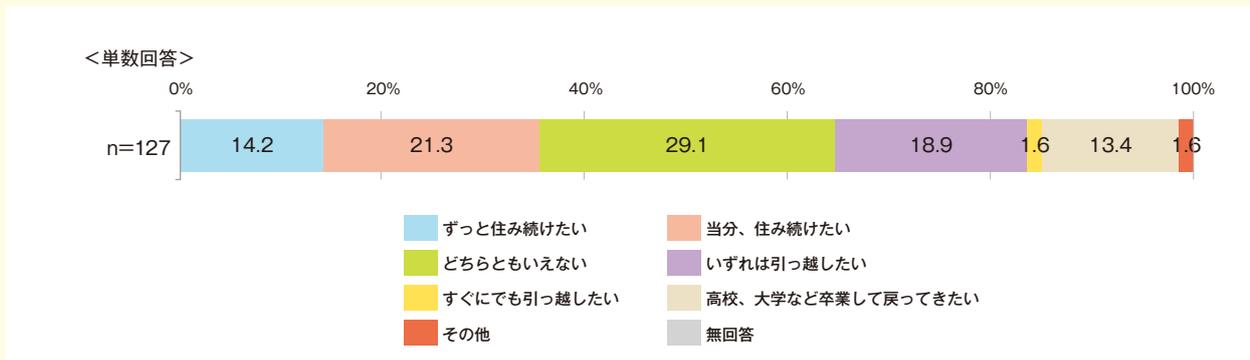
◇「これからもずっと住み続けたい」が66.4%と最も高く、次いで、「当分の間、住み続けたい」の18.8%、「わからない」の7.2%となっています。(町民)

◇「どちらともいえない」が29.1%と最も高く、次いで「当分、住み続けたい」が21.3%、「いずれは引っ越したい」が18.9%となっています。(中学生)

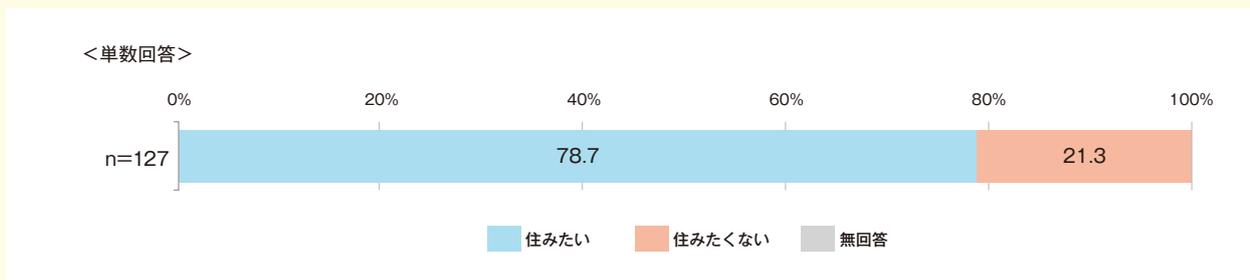
■龍郷町に住み続けたいか(町民)



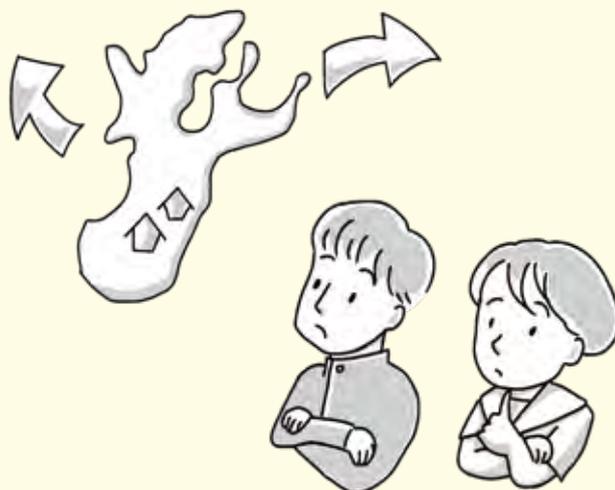
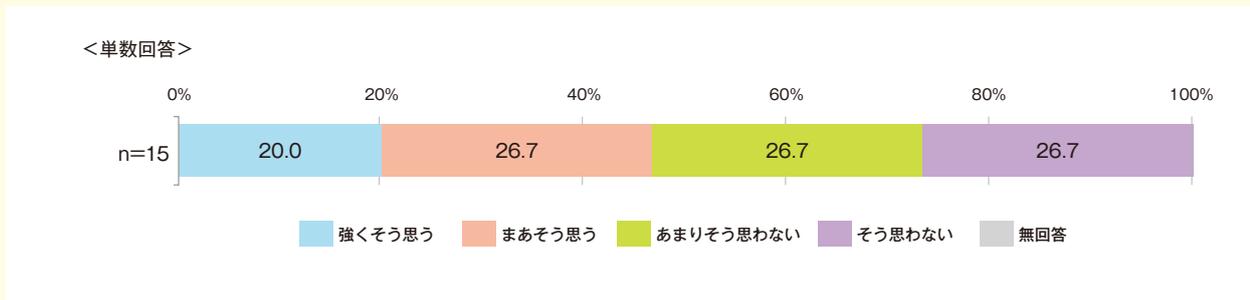
■龍郷町に住み続けたいか(中学生)



■龍郷町で希望する仕事ができることとなった場合住みたいか(中学生)



■いつかは龍郷町に帰ってきて定住したいと思うか(出身者)

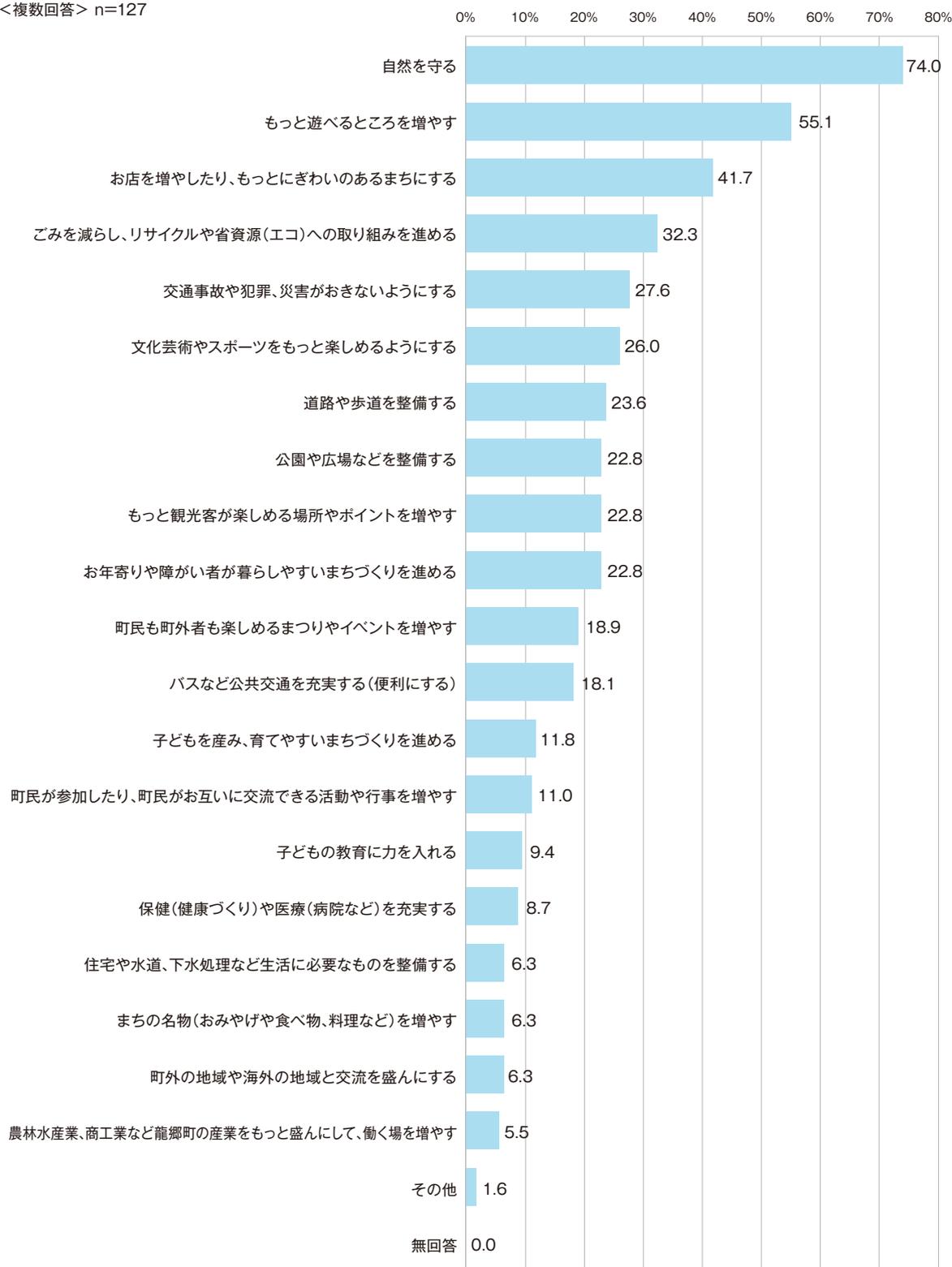


② 今後のまちづくりについて

■ 今後10年間で、どのようなまちづくりを特に進めるべきか(中学生)(単位:%)

◇ 「自然を守る」が74.0%と最も高く、次いで「もっと遊べるところを増やす」が55.1%、「お店を増やしたり、もっとにぎわいのあるまちにする」が41.7%となっています。

<複数回答> n=127



③ 町政に対する評価について

(ア) 「満足」(「満足」と「やや満足」の合計)の割合の高い上位施策(町民)

- ◇全体では「保健・医療の充実」の割合が最も高く、次いで「高齢者福祉・介護保険事業の充実」、「簡易水道(上水道)・生活排水施設の整備、し尿処理施設の充実」の割合が高くなっています。
- ◇20歳未満では「スポーツ・レクリエーション活動の振興」、20歳代では「子育て支援・児童福祉の充実」、「住民参加の推進」、30歳代では「自然環境、公園、緑地の保全・整備」、40歳代では「子育て支援・児童福祉の充実」の割合がそれぞれ最も高くなっています。
- ◇円校区では「交通安全・消防・防災体制の充実」、龍瀬校区、大勝校区では「簡易水道(上水道)・生活排水施設の整備、し尿処理施設の充実」、戸口校区では「高齢者福祉・介護保険事業の充実」の割合が最も高くなっています。

■年代別

		1位	2位	3位
全体 (n=1,106)		保健・医療の充実 50.5%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 44.7%	簡易水道・生活排水、し尿処理 44.2%
年代別	20歳未満 (n=21)	スポーツ・レクリエーション活動の振興 61.9%	観光の振興 / 子育て支援・児童福祉の充実 / 道路・交通体系の整備 / 文化の充実 57.1%(同率2位)	
	20~29歳 (n=36)	子育て支援・児童福祉の充実 52.8%(同率1位)	住民参加の推進 52.8%(同率1位)	保健・医療の充実 / 高齢者福祉・介護保険事業の充実 / 学校教育の充実 / スポーツ・レクリエーション活動の振興 50.0%(同率3位)
	30~39歳 (n=112)	自然環境、公園、緑地の保全・整備 52.7%(同率1位)	環境対策・ごみ処理の充実 50.0%	交通安全・消防・防災体制の充実 49.1%
	40~49歳 (n=173)	子育て支援・児童福祉の充実 45.7%	保健・医療の充実 43.9%	環境対策・ごみ処理の充実 41.0%
	50~59歳 (n=179)	保健・医療の充実 48.6%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 47.5%	簡易水道・生活排水、し尿処理 / 障がい者福祉の充実 / 環境対策・ごみ処理の充実 43.6%(同率3位)
	60~64歳 (n=115)	保健・医療の充実 55.7%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 53.9%	簡易水道・生活排水、し尿処理 51.3%
	65~69歳 (n=119)	保健・医療の充実 53.8%	簡易水道・生活排水、し尿処理 50.4%	交通安全・消防・防災体制の充実 48.7%
	70歳以上 (n=336)	保健・医療の充実 53.6%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 50.9%	簡易水道・生活排水、し尿処理 45.8%

■地区別

		1位	2位	3位
全体 (n=1,106)		保健・医療の充実 50.5%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 44.7%	簡易水道・生活排水、し尿処理 44.2%
居住地別	秋名 (n=103)	保健・医療の充実 49.5%	交通安全・消防・防災体制の充実 46.6%	簡易水道・生活排水、し尿処理 45.6%
	円 (n=38)	交通安全・消防・防災体制の充実 60.5%	保健・医療の充実 55.3%(同率2位)	高齢者福祉・介護保険事業の充実 / 生涯学習の推進 55.3%(同率2位)
	龍郷 (n=74)	保健・医療の充実 54.1%	簡易水道・生活排水、し尿処理 50.0%	環境対策・ごみ処理の充実 45.9%
	龍瀬 (n=172)	簡易水道・生活排水、し尿処理 47.1%(同率1位)	環境対策・ごみ処理の充実 47.1%(同率1位)	交通安全・消防・防災体制の充実 47.1%(同率1位)
	大勝 (n=311)	簡易水道・生活排水、し尿処理 43.4%	保健・医療の充実 42.4%	環境対策・ごみ処理の充実 / 交通安全・消防・防災体制の充実 39.2%(同率3位)
	戸口 (n=86)	高齢者福祉・介護保険事業の充実 55.8%	保健・医療の充実 53.5%	交通安全・消防・防災体制の充実 47.7%
	赤徳 (n=302)	保健・医療の充実 61.3%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 54.0%	障がい者福祉の充実 52.6%

※ は全体1位、 は同2位、 は同3位

※全体1~3位が同率となった場合は、それぞれ満足、不満、重要、重要でないの割合が高い方を上位としました。(以降同じ。)

(イ)「不満」(「不満」と「やや不満」の合計)の割合の高い上位施策(町民)

- ◇全体では「労働環境の整備」の割合が最も高く、次いで「道路・交通体系の整備」、「住宅の整備」の割合が高くなっています。
- ◇20歳代～40歳代では「子育て支援・児童福祉の充実」、60歳以上では「高齢者福祉・介護保険事業の充実」の割合が最も高くなっています。
- ◇秋名校区では「環境対策・ごみ処理の充実」、赤徳校区では「道路・交通体系の整備」の割合が最も高くなっており、校区により不満とする施策に違いがみられます。

■年代別

		1位	2位	3位
全体 (n=1,106)		労働環境の整備 23.1%	道路・交通体系の整備 21.4%	住宅の整備 20.6%
年代別	20歳未満 (n=21)	学校教育の充実 14.3%	労働環境の整備 9.5%(同率2位)	農業/亜熱帯の特色ある産業の振興/ 保健・医療/住民参加の推進/人権尊重・ 男女共同/情報通信社会 9.5%
	20～29歳 (n=36)	労働環境の整備 27.8%	秩序ある土地利用の推進 19.4%(同率2位)	道路・交通体系の整備 19.4%(同率2位)
	30～39歳 (n=112)	住宅の整備 26.8%	労働環境の整備 25.9%	道路・交通体系の整備/ 秩序ある土地利用の推進 23.2%(同率3位)
	40～49歳 (n=173)	労働環境の整備 31.2%	住宅の整備 30.1%	道路・交通体系の整備 27.2%
	50～59歳 (n=179)	道路・交通体系の整備 27.4%	労働環境の整備 23.5%	住宅の整備/秩序ある土地利用の推進 22.9%(同率3位)
	60～64歳 (n=115)	労働環境の整備 27.8%	秩序ある土地利用の推進 24.3%	農業の振興 23.5%
	65～69歳 (n=119)	水産業の振興 30.3%	労働環境の整備 26.9%(同率2位)	農業の振興 26.9%(同率2位)
	70歳以上 (n=336)	水産業の振興 18.2%	農業の振興 17.3%(同率2位)	亜熱帯の特色ある産業の振興 17.3%(同率2位)

■地区別

		1位	2位	3位
全体 (n=1,106)		労働環境の整備 23.1%	道路・交通体系の整備 21.4%	住宅の整備 20.6%
居住地別	秋名 (n=103)	労働環境の整備 30.1%	農業の振興 26.2%	亜熱帯の特色ある産業の振興 23.3%
	円 (n=38)	労働環境の整備 34.2%	住宅の整備 23.7%	道路・交通体系の整備/水産業の振興 21.1%(同率3位)
	龍郷 (n=74)	住宅の整備 31.1%	道路・交通体系の整備 29.7%	水産業の振興 27.0%
	龍瀬 (n=172)	労働環境の整備 20.9%	道路・交通体系の整備 19.8%(同率2位)	秩序ある土地利用の推進 19.8%(同率2位)
	大勝 (n=311)	労働環境の整備 24.1%	道路・交通体系の整備 23.2%	住宅の整備/秩序ある土地利用の推進 19.9%(同率3位)
	戸口 (n=86)	住宅の整備 33.7%	秩序ある土地利用の推進 31.4%	道路・交通体系の整備/水産業の振興 29.1%(同率3位)
	赤徳 (n=302)	道路・交通体系の整備 19.2%	労働環境の整備 17.9%	住宅の整備 16.9%

(ウ)「重要」(「重要」と「やや重要」の合計)の割合の高い上位施策(町民)

- ◇全体では「保健・医療の充実」の割合が最も高く、次いで「高齢者福祉・介護保険事業の充実」、「環境対策・ごみ処理の充実」の割合が高くなっています。
- ◇20歳代～40歳代では「子育て支援・児童福祉の充実」、60歳以上では「高齢者福祉・介護保険事業の充実」の割合が最も高くなっています。
- ◇秋名校区では「環境対策・ごみ処理の充実」、大勝校区、戸口校区では「子育て支援・児童福祉の充実」の割合が最も高くなっており、校区により不満とする施策に違いがみられます。

■年代別

		1位	2位	3位
全体 (n=1,106)		保健・医療の充実 68.4%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 67.6%	環境対策・ごみ処理の充実 65.6%
年代別	20歳未満 (n=21)	スポーツ・レクリエーション活動の振興 61.9%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 57.1%(同率2位)	環境対策・ごみ処理の充実/ 家庭教育・青少年教育の充実 57.1%(同率2位)
	20～29歳 (n=36)	子育て支援・児童福祉の充実 69.4%	保健・医療の充実 66.7%(同率2位)	学校教育の充実 66.7%(同率2位)
	30～39歳 (n=112)	子育て支援・児童福祉の充実 80.4%	環境対策・ごみ処理の充実 72.3%	保健・医療の充実/学校教育の充実 71.4%(同率3位)
	40～49歳 (n=173)	子育て支援・児童福祉の充実 76.3%	保健・医療の充実 74.0%	学校教育の充実 72.8%
	50～59歳 (n=179)	保健・医療の充実 73.2%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 72.6%	子育て支援・児童福祉の充実 70.4%
	60～64歳 (n=115)	高齢者福祉・介護保険事業の充実 77.4%	保健・医療の充実 73.9%	障がい者福祉の充実 68.7%
	65～69歳 (n=119)	高齢者福祉・介護保険事業の充実 72.3%	保健・医療の充実 70.6%	環境対策・ごみ処理の充実 69.7%
	70歳以上 (n=336)	高齢者福祉・介護保険事業の充実 63.4%	保健・医療の充実 62.5%	環境対策・ごみ処理の充実/ 簡易水道・生活排水・し尿処理 60.7%(同率3位)

■地区別

		1位	2位	3位
全体 (n=1,106)		保健・医療の充実 68.4%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 67.6%	環境対策・ごみ処理の充実 65.6%
居住地別	秋名 (n=103)	環境対策・ごみ処理の充実 68.0%	簡易水道・生活排水・し尿処理 66.0%(同率2位)	交通安全・消防・防災体制の充実 66.0%(同率2位)
	円 (n=38)	住宅の整備 73.7%	学校教育の充実 71.1%	高齢者福祉・介護保険/労働環境/簡易水道・生活排水、し尿処理/交通安全・消防・防災/家庭教育・青少年教育 68.4%(同率3位)
	龍郷 (n=74)	簡易水道・生活排水・し尿処理 73.0%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 68.9%(同率2位)	障がい者福祉の充実 68.9%(同率2位)
	龍瀬 (n=172)	保健・医療の充実 69.2%	子育て支援・児童福祉の充実 68.6%	環境対策・ごみ処理の充実 68.0%
	大勝 (n=311)	子育て支援・児童福祉の充実 66.9%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 66.6%	環境対策・ごみ処理の充実 65.9%
	戸口 (n=86)	子育て支援・児童福祉の充実 75.6%(同率1位)	交通安全・消防・防災体制の充実 75.6%(同率1位)	環境対策・ごみ処理の充実 73.3%
	赤徳 (n=302)	保健・医療の充実 75.8%	高齢者福祉・介護保険事業の充実 72.8%	障がい者福祉の充実 69.9%

(エ)「重要でない」(「あまり重要でない」と「重要でない」の合計)の割合の高い上位施策(町民)

- ◇全体では「林業の振興」の割合が最も高く、次いで「観光の振興」、「水産業の振興」の割合が高くなっています。
- ◇30歳代では「コミュニティ・交流活動の促進」、40歳代では「観光の振興」の割合が最も高くなっています。
- ◇龍郷校区では「子育て支援・児童福祉の充実」、龍瀬校区では「観光の振興」の割合が最も高くなっています。

■年代別

		1位	2位	3位
全体 (n=1,106)		林業の振興 6.2%	観光の振興 3.8%	水産業の振興 3.2%
年代別	20歳未満 (n=21)	道路・交通体系の整備/自然環境、公園、緑地の保全・整備/生涯学習の推進/スポーツ・レクリエーション活動の振興/ 行政サービスの向上と開かれた町政の推進 4.8%(同率1位)		
	20~29歳 (n=36)	林業の振興 8.3%	水産業の振興 5.6%(同率2位)	労働環境の整備/文化の充実/スポーツ・レクリエーション活動の振興/住民参加の推進/事務事業の見直し 5.6%(同率2位)
	30~39歳 (n=112)	コミュニティ・交流活動の促進 6.3%	スポーツ・レクリエーション活動の振興/住民参加の推進/ 人権尊重と男女共同参画社会の実現 5.4%(同率2位)	
	40~49歳 (n=173)	観光の振興 6.9%	林業の振興 5.8%(同率2位)	住宅の整備 5.8%(同率2位)
	50~59歳 (n=179)	林業の振興 6.7%	観光の振興 6.1%	労働環境の整備 5.0%
	60~64歳 (n=115)	林業の振興 6.1%	水産業の振興 4.3%(同率2位)	定員管理と給与の適正化 4.3%(同率2位)
	65~69歳 (n=119)	林業の振興 7.6%	観光の振興 5.0%	水産業/住宅の整備/スポーツ・レクリエーション活動/住民参加の推進 2.5%(同率3位)
	70歳以上 (n=336)	林業の振興 6.5%	定員管理と給与の適正化 3.3%	亜熱帯の特色ある産業の振興 3.0%

■地区別

		1位	2位	3位
全体 (n=1,106)		林業の振興 6.2%	観光の振興 3.8%	水産業の振興 3.2%
居住地別	秋名 (n=103)	林業の振興 4.9%(同率1位)	住宅の整備 4.9%(同率1位)	亜熱帯の特色ある産業/労働環境/ 自然環境/住民参加の推進/ 行政サービス向上 3.9%(同率3位)
	円 (n=38)	水産業の振興 5.3%(同率1位)	学校教育の充実/家庭教育・青少年教育の充実/文化の充実 5.3%(同率1位)	
	龍郷 (n=74)	子育て支援・児童福祉の充実 4.1%	林業の振興 2.7%(同率2位)	商工業/秩序ある土地利用/環境対策・ ごみ処理/住民参加の推進/広域行政/定 員管理と給与の適正化 2.7%(同率2位)
	龍瀬 (n=172)	観光の振興 7.0%	コミュニティ・交流活動の促進 5.8%	林業の振興 4.7%
	大勝 (n=311)	林業の振興 7.4%	スポーツ・レクリエーション活動の振興 3.9%	定員管理と給与の適正化 3.5%
	戸口 (n=86)	林業の振興 7.0%	観光の振興 5.8%	定員管理と給与の適正化 4.7%
	赤徳 (n=302)	林業の振興 7.0%	観光の振興 4.3%	亜熱帯の特色ある産業の振興/行政 サービスの向上と開かれた町政の推進 3.3%(同率3位)

(オ) 優先度分析(町民)

各施策における「満足度」と「重要度」の回答結果を、以下に示す方法で加重平均値により数値化し、施策改善の必要性について優先度分析を行いました。

■ 施策満足度・重要度分析

※評価方法

満足度評点: 満足(5点)、やや満足(4点)、どちらとも言えない(3点)、やや不満(2点)、不満(1点)

重要度評点: 重要(5点)、やや重要(4点)、どちらとも言えない(3点)、あまり重要ではない(2点)、重要ではない(1点)

として、回答者の平均得点を算出。

算出した「満足度」と「重要度」の評価点を用い、縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関関係を分布図に示すことで各施策の位置づけを整理しました。

評価の結果、重点改善領域(重要度が高く、満足度が低い)に該当する施策は、「労働環境の整備」、「道路・交通体系の整備」、「住宅の整備」となっています。

A領域 重点改善項目(重要度が高く満足度が低い) 3項目
 施策の重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域

I -7 労働環境の整備

I -14 道路・交通体系の整備

I -15 住宅の整備

B領域 重点維持項目(重要度、満足度ともに高い) 12項目
 現時点での満足度の水準を維持していく領域

Ⅲ -8 高齢者福祉・介護保険事業の充実

Ⅲ -9 障がい者福祉の充実

Ⅲ -10 子育て支援・児童福祉の充実

Ⅲ -11 保健・医療の充実

Ⅲ -13 生活環境の整備

Ⅲ -16 自然環境、公園、緑地の保全・整備

IV -17 環境対策・ごみ処理の充実

IV -18 簡易水道(上水道)・生活排水施設の整備、し尿処理施設の充実

IV -19 交通安全・消防・防災体制の充実

IV -20 学校教育の充実

V -21 家庭教育・青少年教育の充実

V -31 行政サービスの向上と開かれた町政の推進

C領域 改善項目(重要度、満足度ともに低い) 14項目

施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域

I -1 農業の振興	I -2 林業の振興
I -3 水産業の振興	I -4 亜熱帯の特色ある産業の振興
I -5 商工業及び特産品の振興	II -6 観光の振興
II -12 秩序ある土地利用の推進	II -27 人権尊重と男女共同参画社会の実現
II -28 情報通信社会の整備	II -29 広域行政の推進
II -30 地方新時代への対応	III -32 事務事業の見直し
III -33 定員管理と給与の適正化	III -34 効果的な行政運営の推進と職員の資質向上

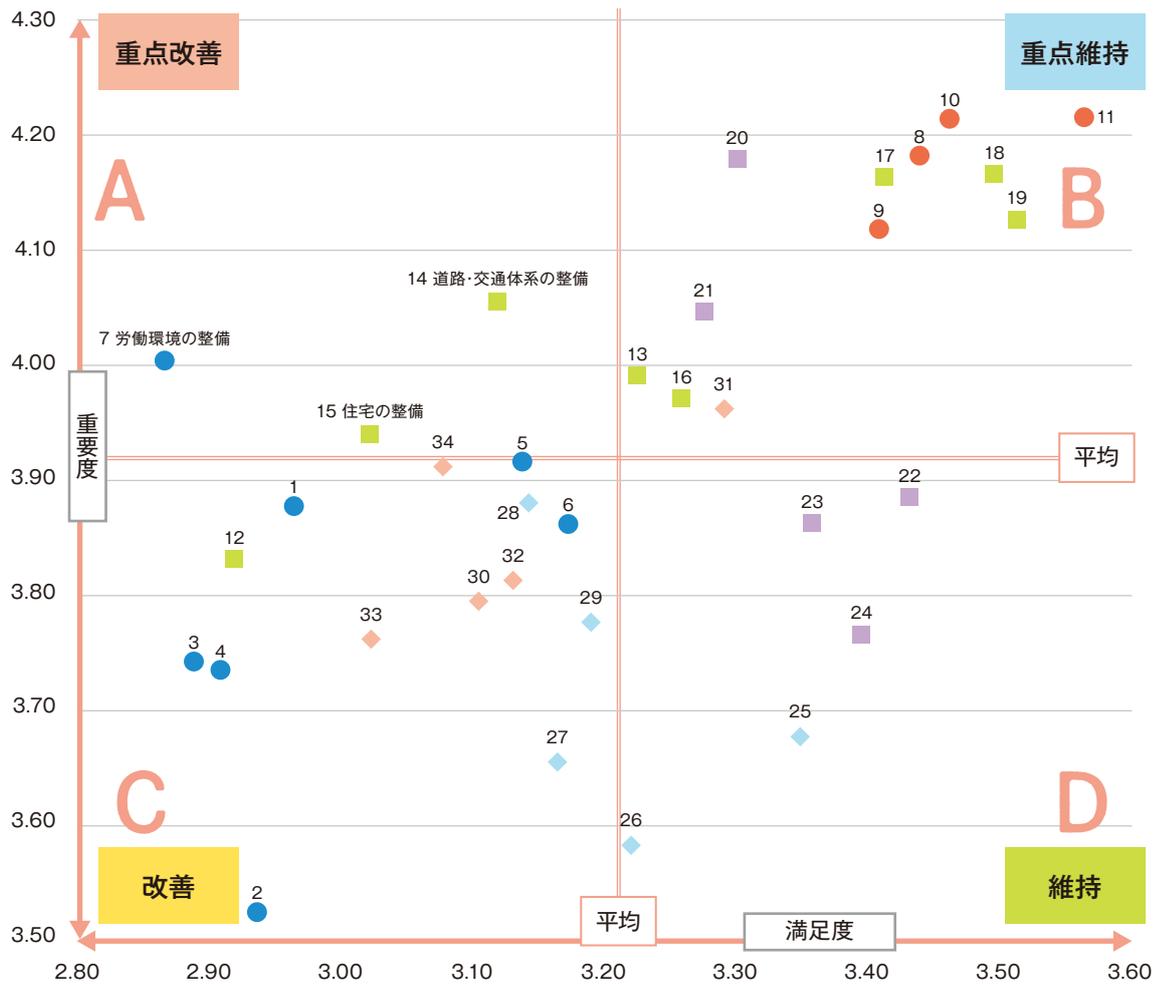
D領域 維持項目(重要度が低く満足度が高い) 5項目

満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域

V -22 生涯学習の推進	V -23 文化の充実
V -24 スポーツ・レクリエーション活動の振興	VI -25 住民参加の推進
VI -26 コミュニティ・交流活動の促進	



■マトリックス図



1:産業

- 1 ● 農業の振興
- 2 ● 林業の振興
- 3 ● 水産業の振興
- 4 ● 亜熱帯の特色ある産業の振興
- 5 ● 商工業及び特産品の振興
- 6 ● 観光の振興
- 7 ● 労働環境の整備

3:生活環境

- 12 ■ 秩序ある土地利用の推進
- 13 ■ 生活環境の整備
- 14 ■ 道路・交通体系の整備
- 15 ■ 住宅の整備
- 16 ■ 自然環境、公園、緑地の保全・整備
- 17 ■ 環境対策・ごみ処理の充実
- 18 ■ 簡易水道(上水道)・生活排水施設の整備、し尿処理施設の充実
- 19 ■ 交通安全・消防・防災体制の充実

5:交流・連携

- 25 ◆ 住民参加の推進
- 26 ◆ コミュニティ・交流活動の促進
- 27 ◆ 人権尊重と男女共同参画社会の実現
- 28 ◆ 情報通信社会の整備
- 29 ◆ 広域行政の推進

2:健康・福祉

- 8 ● 高齢者福祉・介護保険事業の充実
- 9 ● 障がい者福祉の充実
- 10 ● 子育て支援・児童福祉の充実
- 11 ● 保健・医療の充実

4:教育と文化

- 20 ■ 学校教育の充実
- 21 ■ 家庭教育・青少年教育の充実
- 22 ■ 生涯学習の推進
- 23 ■ 文化の充実
- 24 ■ スポーツ・レクリエーション活動の振興

6:行財政

- 30 ◆ 地方新時代への対応
- 31 ◆ 行政サービスの向上と開かれた町政の推進
- 32 ◆ 事務事業の見直し
- 33 ◆ 定員管理と給与の適正化
- 34 ◆ 効果的な行政運営の推進と職員の資質向上

領域の説明

A領域/重要度が高く、満足度が低い(重点改善)

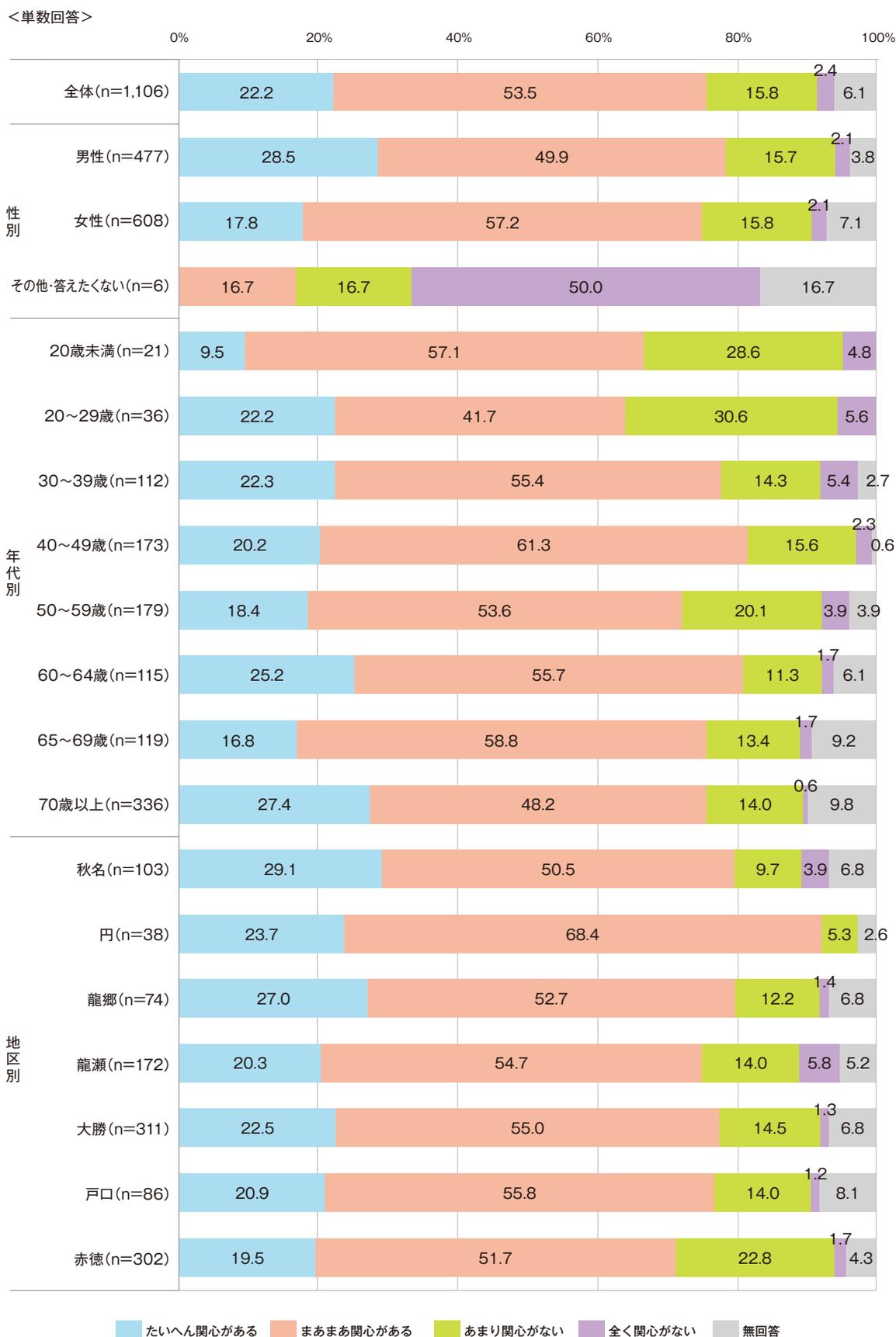
B領域/重要度、満足度ともに高い(重点維持)

C領域/重要度、満足度ともに低い(改善)

D領域/重要度が低く、満足度が高い(維持)

④ まちづくりへの町民参加について

◇「まあまあ関心がある」が53.5%と最も高く、次いで、「たいへん関心がある」の22.2%、「あまり関心がない」の15.8%となっています。



(5) 地域懇談会等の実施

① 概要

第6次総合振興計画の策定にあたり、策定経過への住民参画を推進し、町の取組に関心をもってもらい、出来上がった計画を共有していただくとともに、策定後も町民の皆さまに「協働」による町の施策の推進に関わっていただくことを目的として実施しました。

◆校区別

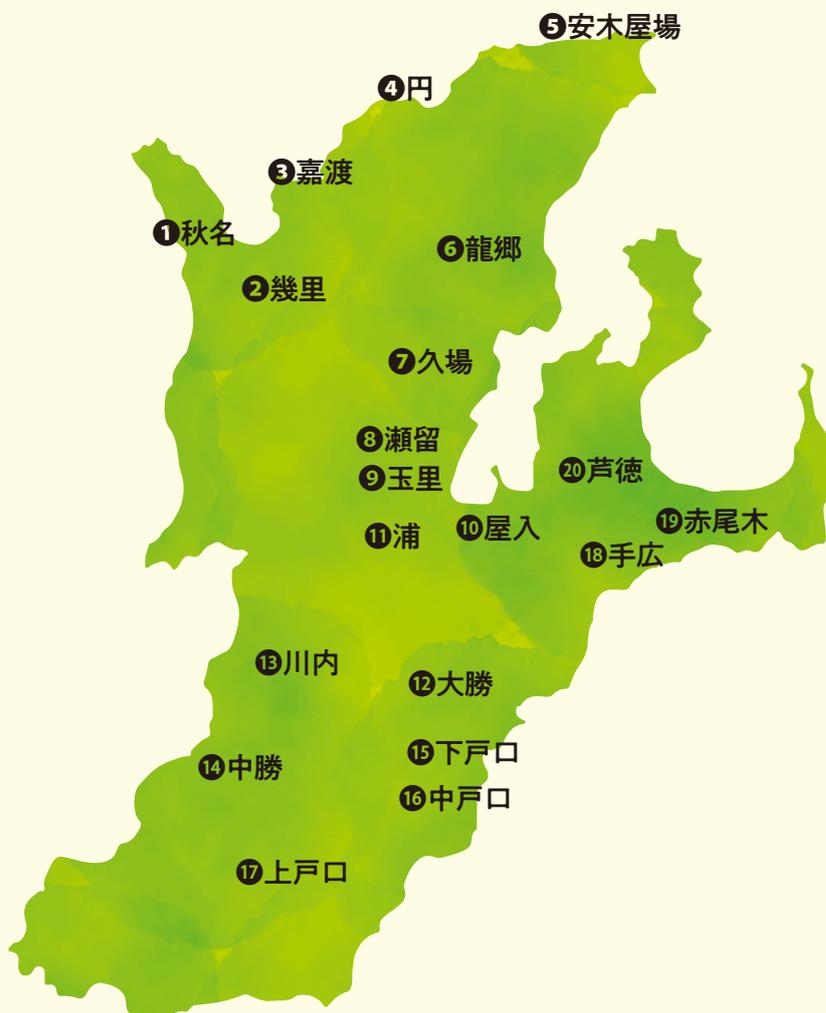
開催日	校区
令和5年2月14日	秋名小学校区①②③
令和5年2月15日	円小学校区④
令和5年2月16日	龍郷小学校区⑤⑥
令和5年2月21日	龍瀬小学校区⑦⑧⑨⑩
令和5年2月22日	大勝小学校区⑪⑫⑬⑭
令和5年2月27日	戸口小学校区⑮⑯⑰
令和5年2月28日	赤徳小学校区⑱⑲⑳

◆分野別

開催日	分野
令和5年3月10日	移住者
令和5年3月11日	高校生



◆20集落の位置図



②主な意見(集落ごとの“元気な姿”を実現するための私たちの行動)

【秋名小学校区】

仕事	農業	観光	自然	教育
集落の田畑を使って企業を誘致→集落と行政が協同して公社を作る	高品質の作物を作る 販路開拓(契約栽培・ふるさと納税返礼品)	各集落の受け入れ窓口を作る 集落活性化に向けてマップ作成などのリーダーを決める	家の周りの草を取る 地域の運営委員を交えてよく話し合っ て年間行事等として実行していく	学校・地域・保護者が話し合いを持てるような学校地域協議会を設置する

【円小学校区】

仕事	交通	自然	住まい	円小存続
地元企業そのもののレベルアップ、意識改築 シルバー人材の活用	FM放送などで、道路を正しく使おうと周知する	個々のマナーが環境を守るので意識を変える 円小ブルーシー活動の継続と地域の方の参加協力	区長が中心として有志を募り荷物出しや処分を手伝ってもらおう	円の住民・AAラボ・協力隊が情報集めや活用を促す 円の魅力アップ!

【龍郷小学校区】

仕事	観光	住まい	移動	定住
第一次産業の明るく楽しいイメージPR. 農業や漁業など子供達に体験学習の場をもち関心を持たせる 賃金アップ	浜の清掃を定期的に集落作業やボランティアで実施 集落で作業のルールを作る	近隣に声かけしてお隣の家族構成を把握しておく 悩みや困りごとをみんなで解決できる話し合いの場所がある	町民にバスを使う習慣をつけてもらう ポイント制度(利用回数ごとに無料など)を活用し利用促進	若い世代がフランクに話せる機会 皆が参加しやすいイベントを開催

【龍瀬小学校区】

仕事	交通	特産品	住まい	教育
産業系の会社の誘致 野菜や魚の直売所の設置	集落でもっと駐車について話し合いをする	どうすれば興味・関心を持ってもらえるか話し合う場を多くつくる	空き家を集落で環境整備する 声かけを多くし、つながりを作る	遊べる場所を作って、子供も大人も楽しい町にする

【大勝小学校区】

仕事	交通	住宅	自然
人を集めるイベントを町と協力して実施する	デジタル化に強くなる(高齢者) 仕事を増やし人口を増やすとバスの利用者も増え便数も増える	集落の人が情報提供する町と集落の人が一緒に所有者を探す	SDGsに町民一丸となって取り組む 不法投棄、ごみポイ捨ての切れ間ない周知徹底

【戸口小学校区】

仕事	交通	土地利用	行政運営
行政ばかりに頼らず、地域で話し合ってる。	地域での声かけ LEDの街灯	区長、議員、民生委員に相談する	集落総会に参加する 区長を中心として意見をまとめ、行政に要望する

【赤徳小学校区】

仕事	交通	観光	住まい	教育
Uターン向けに高校での地元企業インターンを実施 若い職員が魅力ある仕事を発信する(彼らの情報を使って)	町内⇔病院の送迎バスの運行 郵便局や事業所と連携してレンタサイクルを設置	赤尾木集落主導でのハートロックグッズ等の制作・販売	空き家の管理(活用への補助金増が必要)	職業体験→赤徳小中学校のUターンの方々の人材活用→区長が詳しい

【移住者】

移住する前の課題	移住した後の課題	移住を後押し!
単身者が入居出来る住居が少ない(見つけられない) 内地に残っている家族(妻・子供etc)との関係を保つ 仕事が決まるか心配だった 集落に馴染めるか心配 引っ越し作業(離島便)犬・車	知的(だけではないが)刺激が少なすぎる(図書館の機能が低いetc) 賃金の安さ 友達が出来ない 宅地・農地の取得が難しい(開発高額)	特認校や親子留学の検討 試しに住んでみる時の保育所の確保 龍郷ブランド・龍郷を宣伝する 色々な集まりに積極的に参加する(グループ・SNS・face book)

【高校生】

課題	住み続けたい町はどんな町	キャッチフレーズ・キーワード
移動手段が少ない 集落内のネットワークがむしろ強すぎる! 賃貸が少ない。家を借りるのにお金がかかる 病院が少ない 物流が止まる事が多い 塾があまりない 将来の就職先が少ない 街灯が少なく夜危険 “町”の存在をアピールしていない ここぞという観光場所があまりない	集落行事が続いている 地域の人との交流・関わりが深い 自然が身近にある 変わり続けて欲しい! 若い人でもやりやすい仕事がある 高齢者でも利用しやすい交通手段がある 子供の数が増加・子育てがしやすい町 塾がある教育格差がない(本土と) 町外に出ないでも多くの買い物ができる町	どこでも いつでも ナチュラル 交流 アップデート オープン つながり 無(ゼロ)から始める町おこし!!

(6) 第5次計画の評価・検証

① 第5次計画に対する評価・検証の実施

第5次龍郷町総合振興計画が、令和6年度に計画期間の満了となることにあたって、計画の評価・検証を、庁内ヒアリング調査により行いました。

② 第5次計画に対する評価・検証の実施方法

- 方 法:調査シートによる回答及び対面調査
- 時 期:令和5年9月
- 対 象:総務課、企画観光課、町民税務課、保健福祉課、子ども子育て応援課
農林水産課、建設課、土地対策課、教育委員会

③ 6つの方針ごとの評価・検証結果

下記評価基準に基づき、前期基本計画の施策及び成果指標を評価・検証しました。

◆施策の評価基準

評価基準による5段階評価(自己評価)

- A:計画どおりかそれ以上に推進ができ、非常に効果があった
- B:計画どおりにほぼ推進ができ、効果があった
- C:おおむね推進はできたが一部未対応があり、あまり効果がなかった
- D:一部推進は出来たが、未対応部分の方が多く、効果がなかった
- E:未対応または、ほぼ推進ができなかった

【総評】

評価の結果「保健・福祉分野」と「教育・文化分野」が最も評価が高くなっています。これらの分野は、町民アンケート結果においても「満足度」が高くなっていることから評価は概ね適切と思われます。

一方、最も評価が低かった「産業分野」をみるとA、B評価が多く、概ね計画どおり施策が推進でき効果もあったとされましたが、町民アンケートの「満足度」低くなっていることや働く場の確保も求められていることから施策の改善が必要となります。

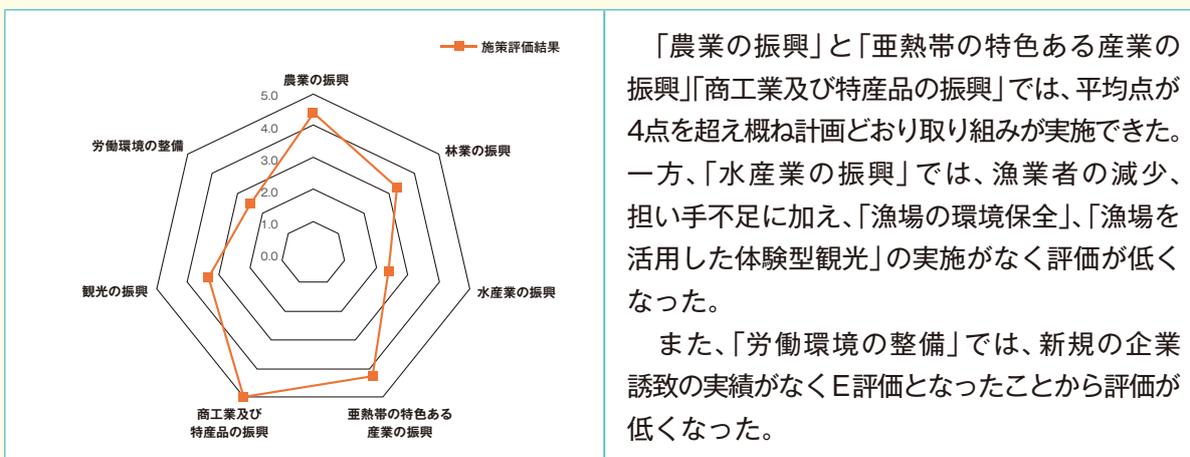
また、次いで低くなった「行財政分野」においても、町民アンケートの「満足度」が低くなっており、行政の効率化、財政の健全化が求められています。

評価内容を全体的にみると、観光・交流分野や保健・福祉分野、コミュニティ分野において、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛や行動制限などの影響があったとされました。今後、このような新たな生活様式や、町民の意識や行動変容に対応することが求められます。

施策の大綱1 地域資源を生かした産業を創造するまちづくり

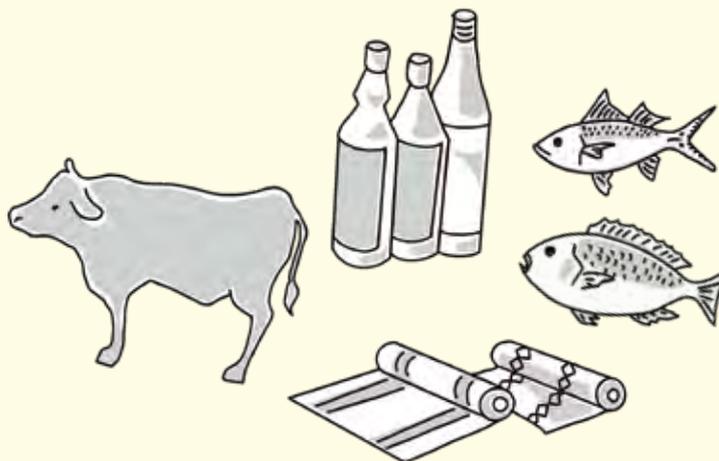
(産業・労働分野)

(1) 総括



【施策評価結果】 (A5点、B4点、C3点、D2点、E1点とし数値化)

施策	施策数	A	B	C	D	E	合計点	平均	備考
		5	4	3	2	1			
1 農業の振興	5	2	3	0	0	0	22	4.40	
2 林業の振興	3	0	2	0	1	0	10	3.33	
3 水産業の振興	5	0	1	2	0	2	12	2.40	
4 亜熱帯の特色ある産業の振興	4	1	3	0	0	0	17	4.25	
5 商工業及び特産品の振興	4	4	0	0	0	0	20	5.00	
6 観光の振興	3	0	1	2	0	0	10	3.33	
7 労働環境の整備	2	0	1	0	0	1	5	2.50	
合計	26	7	11	4	1	3	96	3.69	



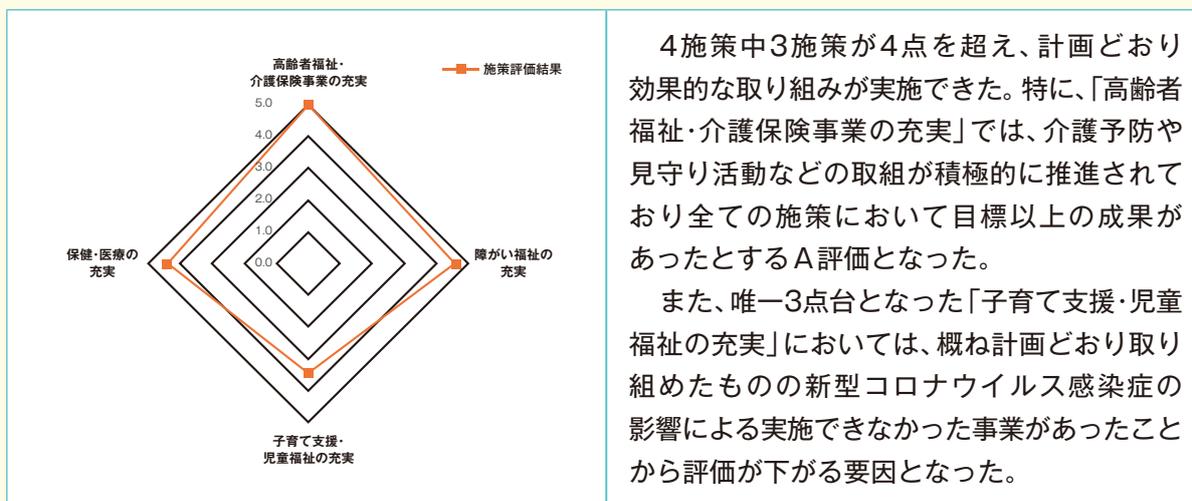
(2) 施策の実施状況

施策	主な取り組み等
農業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産基盤再編総合整備事業 事業費11,402,000円 ・多面的機能支払交付金 認定農用地3,733a ・町内の青年農業者グループへの組織活動費補助や、認定農業者への農業簿記PC・ソフトの購入費用などの助成 ・農地中間管理事業のR4の事業実績 101a ・町単独の荒廃農地解消事業のR4の事業実績 18件 181a ・令和5年度は、「かごしまの“食”推進事業」の採択
林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・林道橋梁の保全 ・枯損木の伐倒やマツを守るため薬剤の樹幹注入を実施 ・森林総合研究所分収造林事業や森林環境保全直接支援事業
水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・離島漁業再生支援交付金事業(~R3まで) ・奄美群島水産業活力向上プロジェクト事業(R2 製氷機施設の改修) ・安木屋場漁港・龍郷漁港等の機能保全工事 ・シラヒゲウニやトコブシの放流(~R3まで)
亜熱帯の特色ある産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・島育ち産業館のQRコード決済導入(R5) ・果樹経営支援対策事業 ・加工品等販路開拓支援実証事業(R2~) ・農林水産物輸送コスト支援事業
商工業及び特産品の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・龍郷町商工会プレミアム商品券発行事業補助金 ・商工業者経営改善事業補助金 ・本場奄美大島紬購入費助成金など伝統産業の支援 ・奄美つくりべの会補助金
観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設整備事業(観察の森周辺整備) ・加世間峠展望台整備事業(R4) ・「海洋教育プロジェクト_見てみよう!わきゃ海」を通年で実施
労働環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・5市町村共同で地域雇用活性化事業の実施 ・各種セミナーの開催

施策の大綱2 健やかで安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

(保健・医療・福祉分野)

(1) 総括



【施策評価結果】 (A5点、B4点、C3点、D2点、E1点とし数値化)

施策	施策数	A	B	C	D	E	合計点	平均	備考
		5	4	3	2	1			
1 高齢者福祉・介護保険事業の充実	5	5	0	0	0	0	25	5.00	
2 障がい福祉の充実	3	2	1	0	0	0	14	4.67	
3 子育て支援・児童福祉の充実	4	0	3	0	1	0	14	3.50	
4 保健・医療の充実	6	3	2	1	0	0	26	4.33	
合計	18	10	6	1	1	0	79	4.39	



(2) 施策の実施状況

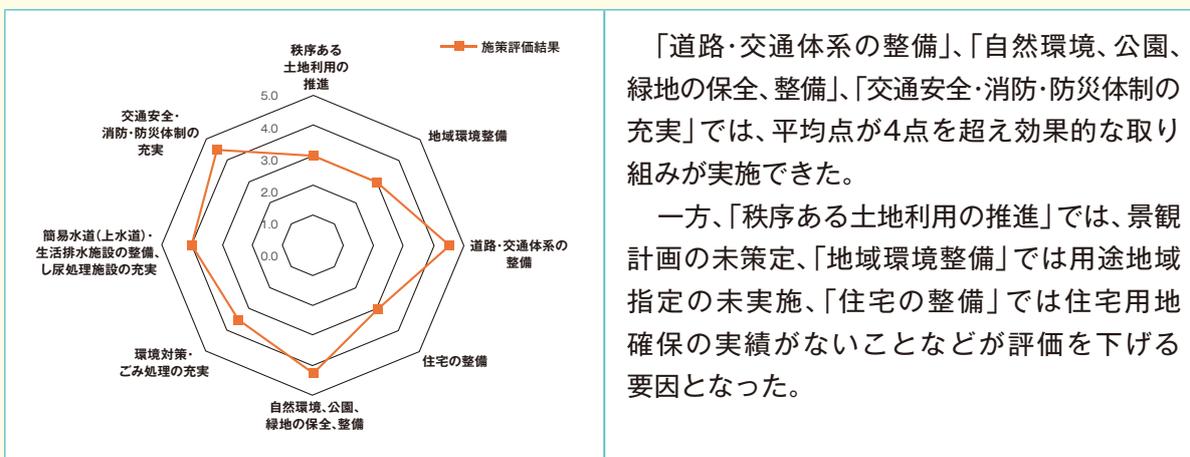
施策	主な取り組み等
高齢者福祉・介護保険事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービス事業所(グループホーム、小規模多機能)を整備(R3) ・老人クラブ育成事業 ・敬老祝い金支給事業 ・シルバー人材センター運営補助 ・介護予防事業 ・後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業が開始 ・生活支援体制整備事業 ・民生委員協議会運営補助
障がい福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス事業の実施 ・身体障害者協会運営補助費 ・奄美地区地域自立支援協議会負担金 ・地域活動支援センター事業委託料 ・移動支援事業委託料 ・手をつなぐ育成会運営補助 ・日中一時支援事業委託料
子育て支援・児童福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童手当支給事業 ・ファミリーサポートセンター事業 ・子育て世代包括支援センター事業 ・放課後児童健全育成事業 ・保育所の運営 ・ひとり親家庭等医療費助成事業
保健・医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージに応じた健康づくり事業 ・がん検診 ・予防接種事業 ・保健福祉センター管理委託 ・国民健康保険事業



施策の大綱3 快適な生活環境でゆとりあるまちづくり

(社会基盤・住宅・生活環境分野)

(1) 総括



【施策評価結果】 (A5点、B4点、C3点、D2点、E1点とし数値化)

施策	施策数	A	B	C	D	E	合計点	平均	備考
		5	4	3	2	1			
1 秩序ある土地利用の推進	4	2	0	0	0	2	12	3.00	
2 地域環境整備	2	0	1	0	1	0	6	3.00	
3 道路・交通体系の整備	4	2	2	0	0	0	18	4.50	
4 住宅の整備	4	0	2	1	0	1	12	3.00	
5 自然環境、公園、緑地の保全、整備	4	2	1	1	0	0	17	4.25	
6 環境対策・ごみ処理の充実	2	0	1	1	0	0	7	3.50	
7 簡易水道(上水道)・生活排水施設の整備、し尿処理施設の充実	4	0	4	0	0	0	16	4.00	
8 交通安全・消防・防災体制の充実	6	4	1	1	0	0	27	4.50	
合計	30	10	12	4	1	3	115	3.83	



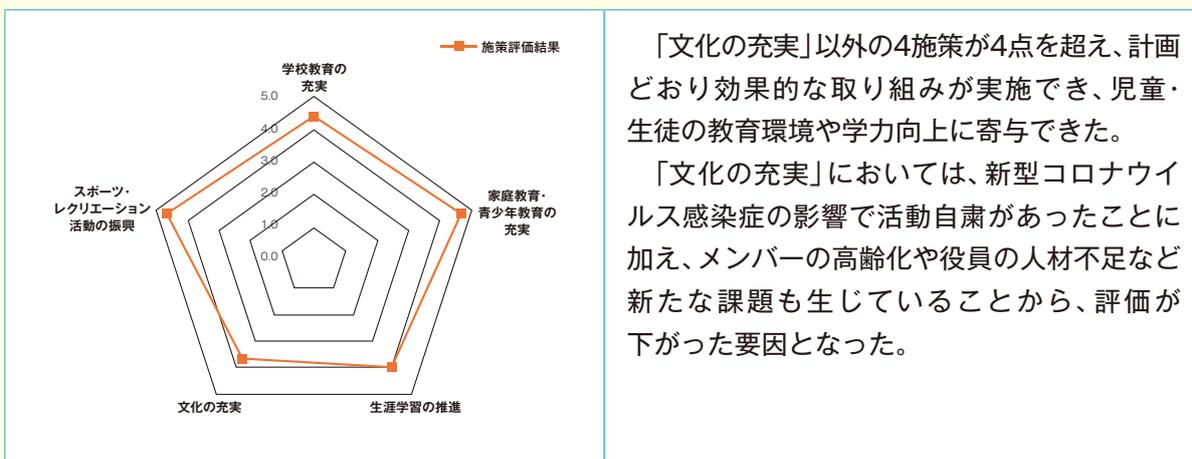
(2) 施策の実施状況

施策	主な取り組み等
秩序ある土地利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査業務、地籍調査推進協議会負担金 ・公共用地の先行取得 (R元 1,302㎡、R2年 1,399㎡、R3年度無し、R4年 206,170㎡)
地域環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村地域整備交付金事業(玉里地区海岸)(R2~R5) ・町単独河川維持補修工事(R1~R2)、緊急自然災害防止対策事(R3~R5)等 ・耐震改修促進計画見直し
道路・交通体系の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金事業(浦赤尾木線) ・道路改良舗装工事中勝ペラダ線 ほか ・高校生バス通学費助成金交付事業 ・港湾施設維持補修工事 等
住宅の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅維持補修、ストック総合改善事業、解体工事 等 ・公営住宅長寿命化計画見直し ・荒波地区活性化対策賃貸住宅家賃補助事業 ・龍郷町移住定住・住宅リフォーム等補助事業 ・空き家バンク制度 ・NPO法人あまみ空き家ラボとの空き家等対策に関する連携協定
自然環境、公園、緑地の保全、整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ハブ買い上げ、ヤスデ蔓延防止事業、ウミガメ保護監視 等 ・民間ガイドを中心とした自然環境の保全 ・西郷小浜公園ととおしめ公園を整備 ・「奄美自然観察の森」の再整備
環境対策・ごみ処理の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域温暖化対策実行計画及び脱炭素支援計画の策定 ・子ども博物学士事業 ・一般ごみ収集委託業務、粗大、資源ごみ収集委託業務
簡易水道(上水道)・生活排水施設の整備、し尿処理施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・検針・徴収委託 ・経営戦略策定(R2)、水道施設整備計画策定(R4)、管路システム導入(R3~R4)、新水道会計システム導入(R4) 等 ・浄化槽市町村整備推進事業
交通安全・消防・防災体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室、防災無線による広報活動等 ・カーブミラーの設置 ・消防車両更新、消火栓設置工事、耐震性貯水槽設置工事 等 ・龍郷町防災強靱化事業、役場庁舎耐震補強・改修工事、防災倉庫設置工事 等

施策の大綱4 豊かな心を育む教育と文化が薫るまちづくり

(教育・文化・スポーツ分野)

(1) 総括



【施策評価結果】 (A5点、B4点、C3点、D2点、E1点とし数値化)

施策	施策数	A	B	C	D	E	合計点	平均	備考
		5	4	3	2	1			
1 学校教育の充実	5	2	3	0	0	0	22	4.40	
2 家庭教育・青少年教育の充実	3	2	1	0	0	0	14	4.67	
3 生涯学習の推進	1	0	1	0	0	0	4	4.00	
4 文化の充実	3	0	2	1	0	0	11	3.67	
5 スポーツ・レクリエーション活動の振興	3	2	1	0	0	0	14	4.67	
合計	15	6	8	1	0	0	65	4.33	



(2) 施策の実施状況

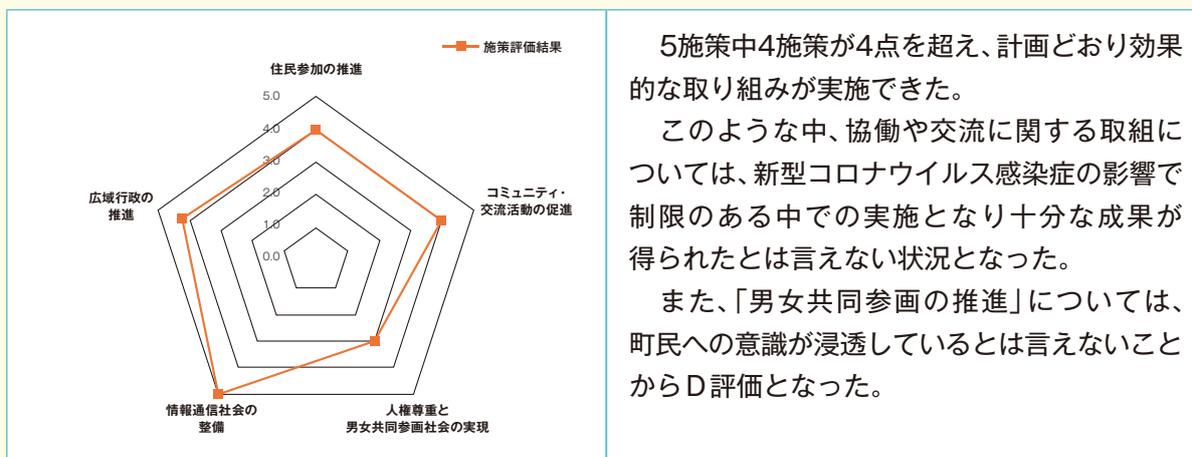
施策	主な取り組み等
学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教員住宅整理事業(取り壊し・耐力度調査) ・教職員住宅整備事業 ・長寿命化修繕(龍瀬小、龍南中学校) ・各小中学校空調設備整備 ・給食センター修繕・更新事業 ・教育相談事業(不登校生徒の相談) ・特別支援教育支援員配置 ・就学援助、修学旅行補助、宿泊研修補助等の実施 ・学校ICT導入事業 ・いきいき英語活動指導員配置事業 ・龍郷町龍進未来塾 ・教育研究会運営補助 ・たつごう支援net会議 ・願いをのせたこいのぼり事業
家庭教育・青少年教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・町内各学校家庭教育学級の開設 9校 ・輝く龍郷っ子支援補助金、PTA連絡協議会補助、子ども会連絡協議会補助 ・地域ぐるみ青少年育成事業 ・青少年育成ミュージカル
生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座 ・生涯学習講座特別講座 ・町民フェア
文化の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・シマ歩き講座実施 ・高倉屋根ふき替え事業 ・平瀬マンカイ補助 ・文化財保護事業 ・文化祭
スポーツ・レクリエーション活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・龍郷町体育協会事業補助 ・学校施設開故事業補助金 ・町スポーツ少年団指導者研修会



施策の大綱5 人がふれあい個性が輝く交流・連携のまちづくり

(協働・コミュニティ・人権・男女共同参画・広域連携分野)

(1) 総括



【施策評価結果】 (A5点、B4点、C3点、D2点、E1点とし数値化)

施策	施策数	A	B	C	D	E	合計点	平均	備考
		5	4	3	2	1			
1 住民参加の推進	4	1	2	1	0	0	16	4.00	
2 コミュニティ・交流活動の促進	2	1	0	1	0	0	8	4.00	
3 人権尊重と男女共同参画社会の実現	2	0	1	0	1	0	6	3.00	
4 情報通信社会の整備	2	2	0	0	0	0	10	5.00	
5 広域行政の推進	3	1	2	0	0	0	13	4.33	
合計	13	5	5	2	1	0	53	4.08	

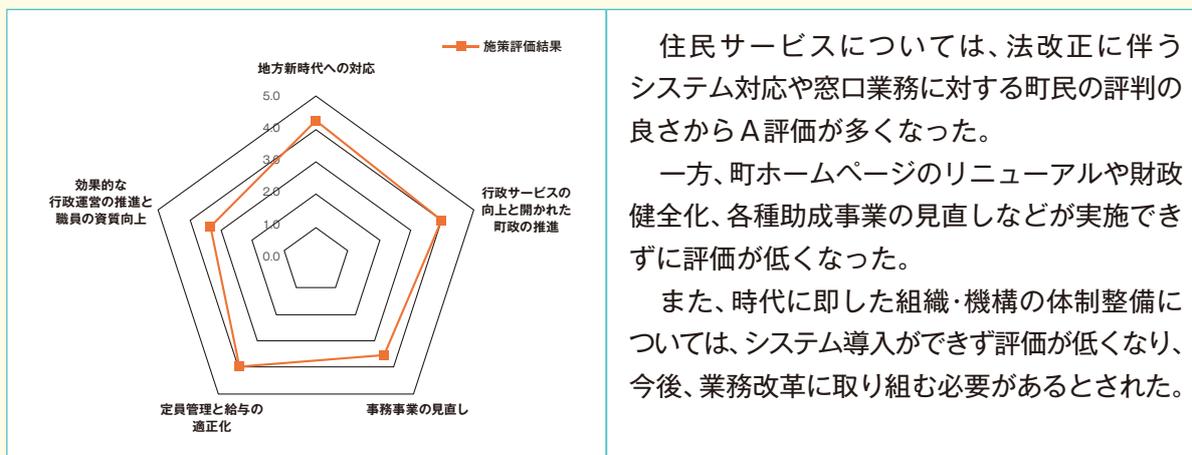
(2) 施策の実施状況

施策	主な取り組み等
住民参加の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・50周年記念誌発行 ・広報たつごう発行業務 ・町民と語る会 ・エフエムたつごう ・町民フェア補助 ・たつごうみらい会議 ・地域活力創出事業 ・安木屋場公民館建設事業 ・地域おこし協力隊
コミュニティ・交流活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・西郷菊次郎生誕160周年記念事業 ・関係人口創出事業 ・龍郷町ホストタウン交流事業
人権尊重と男女共同参画社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度人権の花運動(秋名小) ・令和5年度人権の花運動(龍郷小) ・男女共同参画推進事業 ・町民アンケートの実施
情報通信社会の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・地デジ再送信利用世帯数(令和5年度 656世帯) ・伝送路設備の点検事業 ・町行政情報等放送事業(エフエムたつごう) ・町ホームページ、LINE
広域行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・航路航空路運賃軽減協議会負担金 ・奄美群島広域事務組合負担金



施策の大綱6 効率的な行財政運営で共に創るまちづくり

(1) 総括



【施策評価結果】 (A5点、B4点、C3点、D2点、E1点とし数値化)

施策	施策数	A	B	C	D	E	合計点	平均	備考
		5	4	3	2	1			
1 地方新時代への対応	3	1	2	0	0	0	13	4.33	
2 行政サービスの向上と開かれた町政の推進	8	5	1	1	0	1	33	4.13	
3 事務事業の見直し	10	1	3	6	0	0	35	3.50	
4 定員管理と給与の適正化	3	0	3	0	0	0	12	4.00	
5 効果的な行政運営の推進と職員の資質向上	3	0	2	0	1	0	10	3.33	
合計	27	7	11	7	1	1	103	3.81	

(2) 施策の実施状況

施策	主な取り組み等
地方新時代への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎整備基金積立(令和4年度末時点で625,600千円) ・町民と語る会 ・たつごうみらい会議 ・戸籍総合システム ・マイナンバーカード事業費 ・eLTAX ASPサービス
行政サービスの向上と開かれた町政の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付、コンビニ収納 ・統合型GIS事業 ・デジタルオルソ整備事業 ・戸籍総合システム
事務事業の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・公会計導入等支援業務 ・ふるさと納税 ・滞納徴収支援システム
定員管理と給与の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・定員管理適正化計画の見直し
効果的な行政運営の推進と職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修事業 ・働き方改革対応システム構築事業

